一性ふ部是被異動は十八日

一百八

三名に上

九日登順通』地方総館美術足被美献は十八日全部人工日野守された、今回の一九日野守された、今回の

日登橋通】騰東軍の宋一哲元軍職派に関する戦明に對し陸一軍告局は次の如く踏つた

わが陸軍當局の

部長級大異動

午前十一時半より首相官は

、民次選根が前回の

大京十九日参属語』政局将

機器で並入艦に配田能様のほな、町田監球、安薬園局の三大、町田監球、安薬園局の三大院館された、並散に鈴木跡

岡田首相は席上三震首に

鈴木、町田、安達四氏)

『東東十九日登園通』 脱東東が続

外務館展は十八日

滿洲國

財政愈よ堅實

地方的の

出來事

般會計歲

八決算

我外務當局談

我軍

の行動開始に

撤退せん

日

首相け

ふ三黨首招待

誠意を披瀝、政府支援懇請

瀋陽銀行開業 宮尾舜治氏來連

にいています。 にはいいでは、 にはいでは、 にはいいでは、 には 奥地視察を了

職定 (寫真は 一一時本批談

對支外交正常化强調

日支兩國間に協定締結の用意

廣田外相、議會で宣明

米哲元軍使入地區略圖

上海支那紙

宋哲师軍

境職保の標

「東京特電十九日發」第六十五邊館にて萬邦協和なる外突像語を擔唱した廣田外相は來る議會にないては不得。 「東京特電十九日發」第六十五邊館にて萬邦協和なる外突像語を擔唱した廣田外相は來る議會にないては不得

リ支那の自覺次第によりては日支間に不脅威、不侵略協定を締結せんとする用意を心記のて支那を植民地化するものであるさの見燃より、貯蔵觀念に握はれず、支那な真に觀覚員さして難够において日気立の保証を終する事をれ間燃が支那の態態性を傷けるものであり、門戶開放、機會均等などを確保する事も

か支那の獨立性な傷けるものであり、門戶開放、機會均等などを確保するしてるるのに鑑み欲府は九ヶ國総教を慰覚することは云ふまでもないか、元末朔國が獨立國に

機會均等などを確保する事も

九ケ関係約速反を云々

で**カ**る

版にようとで、 で野し関磁機保の見地から気事行 に野し関磁機保の見地から気事行 に野し関磁機保の見地から気事行 に熱河西境の淅洲領土内に侵入と

さの原答わり、議事さらて無い を記述を取らるさ姓にこれなを職合 を記述を取らるさ姓にこれなを職合 を記述を取らるさ姓にこれなを職合 しては此最低の歌組特別を追覧に とては此最低の歌組特別を追覧に おいて一昨年候の武貴倫教を育さ これな事権制して研究を進め ないな事権をある。と、歌和家に関い ないて一時年候の武貴倫教を育さる。

るこさな洗練し、午後一時一先づ 会食機出の新京に武能管液所を腔 でするの僧について影響した



ため認可申請が拓務

であり、遠からす認可があ 脚しては重役幹部が極力奔 関連延してぬるものの、こ 部附)同上 の日正午費はさにて簡句の遺氏(機順セメント号 氏(三共製藥大連支 氏〈千禧職造所支配人〉



八日午後十時費列車にて朝鮮経五百旗頭佐一氏(本社記者)十 良三氏(國際維基支店長) 祖氏(遺信者配氣局監理 つっていて、ようが、こうで、カルミリ無がいそいり能は、どなたにも、お目にかゝ さつきは、あんまり無がいそいてあめ、帰田先生でございますか さ、皆げ知らせた。

ユールドシトラウス特輯近代祭の特罪

高洲 国財政の別 教人の二

住て一

걘

をほど、さう明ぜば、御縁人のおりになるから、来るやうにさ、おがにないれのですが――」 人業に、戦效をわらはせる様になっからはせれてあらうか?こんな りはせぬてあら が、たしなみのわるさん、愛想を

活な数なの転がきこえるのだつ 「いゝ都高温かあつたら、持つて そして、まだ、立ち 赛= 狂



氏のほかに就事具修練者さして継い、新評権戦の間に於いては山崎 で新説事製揺離抗合な修修を贈く が、新評権戦の間に於いては山崎 が、新評権戦の間に於いては山崎

で唇る。ダークホース構造にして

但し、開着は共に鞍の紐が贈ん

察部最からの無日が多い。

社員會幹事長

栗屋氏が有力

が佐々木なら米は機関から

清州市場を日差す光降等ひ、英

前遞信局長

起業井美治氏は家族な同代十九日監準既認に駆伍さなつた前輩信服 雕井氏赴任

たが、これは順策的見地からもし残るのは航空問題だけさなつし残るのは航空問題だけさなつ

より本社宛左の如き

民人と妻(その七)

取り上げて、数文の都屋に呼びか合せるやうにしながら、電話者を

はにーキス、し早はに花し楽おの月二 いなの暇 ドーコレのータケビはみ すで番ーが

けた。

「すぐに、お通り下さるやうにさ

親野いからだな、二つに折るや

一月新譜

官內假樂

三上於蒐古

二郎書

な青春

(99)

富面の重要問題審議 は東屋氏に自物の矢が立つものでは東屋氏の野野が高い 野小路方面のイルミネーションにのぞんだまテルは、妙にひよる、繋い池が、できない。一般にひよる、繋い池が、野がにひよるであったが、駅へは、上 さいてゐる権町から、明るい強りには 出るさ、白い手ぶくろな季めた手は 出るさ、白い手ぶくろな季めた手をができる。 そして、受話器を描くさ、引つかへして來て 彼女なキ のついた際股を導いてゆくのだつ

端 社 員 會 幹 事 會

のさかして強くた。

「ここちらでごと、した。

「ここちらでごと、小臓なが高いてゆくのだったが高い、かあつて、鯉の斑れを直しにゆくさっきは、うれしさに、幅が出来で塗られた柱を持つた。古風など地域で塗られた柱を持つた。古風など地域で塗られた柱を持つた。古風などが高いるの影響眼に立つた。

「ここちらがない。」の表もからで、古風などが高いてゆくのだった。

「ここちらでごと、上に、あたしだけに連ふために、めんな、お客さまたことが、からに、かんな、お客さまたことが、地で、しかし、鯉の先きからであった。

「ここちらでごと、した。

梅にも春・梅と

見られてゐる

小項勝太郎 青 青



浪花節 数調天

人情報 名匠演野矩隨 英州提燕

很花飾 木村富士 交乃家かしく

考女は、 服脈ないろげて巡へるの ごさかりた投げ入れるやうに 二人は、お互に、熱い唇を取め ■ 本 の他の演唱者及合唱画 本 な の いっていまれいジャラスカ・ション・オルジャラスカ・ション・コート (ホティン・コート) 東西アラベラ」 で交響管拉■ モニック管技機

ばならわの果然の開東軍競技と 降りかゝる火の子は挑ばなけれ

てございました。失難いたしまし

ボーイは、機場の女さ、目か見

「様ってるた

続ち戦火すればよし、著し燃え続

らんか、頻繁修にも及ばん。

- 九州への最短連新原路 - ・

一種影似の御書家のため旅

時五十分、同餐同十一時五十八人の一時五十分、同餐同十時五十四分率天着同十一分、同餐同九時十二分、同餐同九時十二分、同餐同十時五十四分率天着同十一時五十分、同

靈

忠

0

局鳴る軍靴

はる

千歳丸延着の爲二十一日午前

近海郵船會社大連代理店

へ營・交代の若き勇

けさ堂々大連に上陸

十分製剤車で膨脹に向け出数

御に直にその冒東門曝派出所に属

琺瑯引

飯蒸

二四六十美七五

極上品

小中大價

返品·返金·自由

待合所

内に体態の上、

カー付オートバイ

車發着時刻

人連驛は通過せず

う、それを思ふさかうとた運動 大な血臓式を行び式後慣怪及び<equation-block>はないにみつめてゐるである。 八時三十分から在哈正教養寺は盛部下は今忠疾塔の下で皇園の委 八時三十分から在哈正教養寺は盛年財産とてゐます、私の藻曲の 大日松花式の桜上において行はれる田神滅の運動には心の真底か 九日松花式の桜上において行はれ

趣気が十

早隆丸救助から歸った。萩の

同氷の天プ

た願ってゐる が人の努力によ が解軍人に陳情

嚴寒中の猛活動に



他官民駆性多數出

ー萬の英靈を慰めるため

滿

十二日錫連したが、英鵬二十三 日には久留米市において黒田周 一少称さ會見、二十五日には伊 野神宮皇季館長平田貫一氏さ會 見して熱意を披瀝し、二十六日 入京それより靖國神社賀茂宮司 陸軍大臣官房高級副官牛島大佐 同人事局長松浦中將、內閣書記 官長吉田茂氏、その他帝國在郷 官長吉田茂氏、その他帝國在郷 官長吉田茂氏、その他帝國在郷 官長吉田茂氏、その他帝國在郷 熱誠な運動起る 平田氏は語る

ます、御社の通常接をひてへに 大学架の前で小廠をなら信徒の一 武寺でき仕事ださ信じます、こ 人は架下三十度の膨彩を踏らて水 やに窓つたが、これに原始能な行った。 事さらてハルピン名物の一つさな 接を得て運動は愈々具體的方向 に進みついあることを喜んで居 中に窓つたが、これに原始能な行った。 事さらてハルピン名物の一つさな おす、御社の事が、 中に窓つたが、これに原始能な行った。 中に窓つたが、これに原始能な行った。

り、瀟洒

本一日、けっちでは、 十字架の前で赤線を大路との運動されば正に私の一生に 十字架の前で赤線を大路とのでは、 が疑蛇の弾を使って大路との運動されば正正私の一生に 十字架の前で赤線を大路に数

戶外週間最終日

帝國在城軍人會大連聯合分會長岩

大に努力する

郷軍大連聯合分會長 岩井少將談

あすの催り

スタンプ懸賞ご實探し

は世間で帰分喧しく

をり、これが為 で観々遊響行を "許可主義 《を勵行 ダンサーン大連 で自由主義を同一 師都市で 云はれてあるやうだが、



技師な影響してカメラに転めたつたので、見味も多く松竹は鷹々 屋内の怪漢 前科ある浮浪

の交代兵動理除順が能されるの交代兵動理除順が能される

靴の音

寒稽古納 者では去る七日より 原である のである のみた運輸す

連轉手にも技術試験を 來月一日から規則改正さる

自動車と自轉車

大連浪速団扇芳ビル下

貿易商會

産既製品外套、ショール、防寒帽

各種助寒用品

皮

良い毛皮を安く賣る店

御仕度は是非當店にて

孤襟を、ラツコ、カワウソ

市内西通七六是足薬代(1)= 不倫関係からか

(電氣遊園正門北大連市連鎖街廣小

在荷豐富

側より三十五圓

風紀を紊すエ

ロ・ステップから

ク御法度

學生控室荒し 太い鮮人捕はる

闘者館のルンペン狩りに

兵國皇室町

良質廉價を誇る

級髙

今流行のお化粧品

百貨店・化粧品店・消費組合にあり

オソの御常備を

年頭刀置祭



26日ま

御奉仕品の

中から

加盟夜具

金秀百五拾圓(液

金壹百四拾五圖

中 和 (一・五〇) (十日・十一日限リ) (百 枚 限 リ) (1 九・〇〇) (本日・十一日限リ) (1 九・〇〇) (1 元十枚限リ) (1 元十枚取り) (1

温



◇春姿娘道中 ◇ 気々に東城線監督がメガネンな

新人郷脈近の駅かなもの、二十一日ンパン映画、入江たか子、総轄子以

年改まり流行も新

しく、三五年劈頭の逸品揃ひ

(十九日より店内にて開催)

おろうないなどの

邦樂は他社に劣らず、ガッチリ

陣容にが、飛龍三味線も

日

報

年間に眼のあたりに見て

何と無酷いお姿だらう

+ =

たの處女のやうに、きれいであつ何ものにもまだ染まつてゐなかつ何ものにもまだ染まつてゐなかつ の貨職な、性養坊は、この九

に残ってったくましい脱骨の張つ思まれてゐるのかも知れないで彼

華殿を聴き、南都の確學 月新譜紹介三 1 12/5/1

だかがら

るで

とる薬

東京市原教のでは、 東京市原教のでは、 東京市原教のでは、 東京市原教のでは、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 、

十五日より六日間 毎日豊夜三回連續集行入れかえなら 第一回第三回 料金・ 雑新三劍上 — 2.25 6.222 階下 うるぶす 11.30 3.27 7.24 八十錢・ 極彩色漫画 1.02 4.58 8.56 階上 テナシチー 1.11 6.08 9.05 階上 日曜前十時半開映十一時近人場の方は廿錢町・

るべきはオッフエンバックの歌とは他の二社に此してや、魅し楽は他の二社に此してや、魅し 大衆を狙つて通俗物全盛 ールの新譜

恵プロはその態度を譲さして日活 指触を重ねた結果、日活脈は訴訟 指動を重ねた結果、日活脈は訴訟 職氏が他に入り替我干悪プロが日本映画配 地するこいきまき総解を観しても おが京都土地乗行東海、総木吉之 たが京都土地乗行東海、総木吉之 たが京都土地乗行東海、総木吉之

西痛にセロンノ(聖路心)日本橋薬

号

0,

新 豪 夫 連

電電 五四十

九三六

映畵ニュース 松に開出の紛糾は国

尙修繕も優良なる職工が上海より参つて居りまずから叮嘩安價にて御引平素の御愛顧に報ゆる鳥め前記の通り 大・宇弓 是非一度沖楽舰な順令般上海弊工廠の特製品澤山楡入致し、大・宇弓 にて御用命か頼きま

近江洋行筋向大連浪速町三八

紫檀細工業等職務人物二割引

割引

○スタデオさ日本ピクター協同等 思藏全快出演

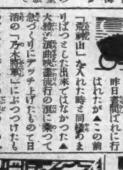
映画社の「線の爪」完装銀座會館のロケ

本際電」の改竄が 大際電」の改竄が 大際電」の改竄が

う、特別歌賣さ

ても東海林太郎で喜代三さが入れ

な入れた時で同様のま はれたが▲この前



THE PARTY OF THE P



號〇五 かまり、 ・ では、 ・ できます。 です。 ・ できます。 です。 ・ できままは がまれる。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でものない。 でものな。 でものな。 でも







極来にもの素膜を

No. 312

於會式檢練百會推典

一些



御履物

は

皆樣

0

内

涯

李加



店





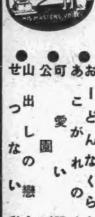
隆畫

回典行なが

サー日迄の中央映書館 中書はダンシングレディ・機愛修學旅行・愁風宴後篇署月の巻



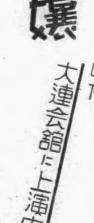




変がんいれない 06 私人で眼空ら 五三三一番以 (五三二二〇) 五三二十番

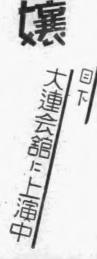
御聴き下

3



隅

土





本

ピクター





劇 連

(104)

(可認物便到種三節)

さ、認めるやうになつてゐた。 は、口を跳して、 花治 書作

の智海に随つて、天台の三大部を (師の御房) やがて範裏の機質

三半名に プレスコント

アルアを

大自然のすがたには、眼に見えて、これが變つたさいふ事もない 大自然の上にながれる十年の影

云つた。

ですってはれてから、

怖いて見れば さ氣がついた

やうなふうは少い

大和路へへこ

を、おやさしいお方ださ思ふが、 だら、 だいお

V

に、日ぐせのや

他に見られない時代の要求する… 逸品です

部實販場工車轉自口山町馬停小・橋本日・京東

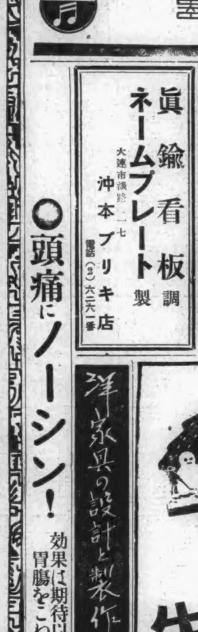


のてべ並も本二な。高峡切封 ! 行映大行興別特の回一月 しなへ替入回三夜畫は日初

常

東西女優大歌舞伎

眞



正はなるというできませんというできない。

胃腸をこわさぬ理想的頭痛薬効果は期待以上! しかも

カンノ洋家具店

大連連鎖街

特選

THE SENT WITH PLAN

告が、アメリカの遊話に脱してで放腹が繋ぜられた各種の逆合が

の過去の疾風悪激

来一家に終するものがちち れず、その終験の重大なること様一人 ティールの機構の一般は膨脹を発

恐慌歌時に溯る

は前の契約はすべてドル総分切下 以前の通貨価値なはつて実施する 以前の通貨価値なはつて実施する が各方面になされたのである。 これに對し球所は通貨の販買力は これに對し球所は通貨の販買力は これに対しな所になされたのである。 によて金軽分を減じただけ減

違憲なれば事重大

り、今世界の脱離を欹たとめてり、今世界の脱離をなかたとめて連に裁断を下された石油生産制限を定の如きはその一であ

大審院の判決待つ

決議であつたのである。
なのが六月五目の金約款貯薬共
にでいた法律的に確認した
して

るるさの法理論を以つて膨胀してあるさの法理論を以つて膨胀して

位の合衆國金貨」で元利を約18時現存した「標準重量

語々の論学現代の問題

る支機はこ

職すべきな要求するさ共

特局市民職合會

に工部局に請願す

より貸出を行ふや

年關經濟を控

恐慌に悩む上海

商民のモラ要求切實

186 大管地一般酸人

一、商工業者間の決汚は一年間克服のため

五圓の關門へ

大豆突き進むか

豆油も天井知らず

一般は七百萬碗約一億

は粉水脱路機級の上に重大な役 なほプリユーフスンネルの食品の満洲林檎の歐洲進出に就い 野抗し得るものさ見られてる

に称りのと頭に軟化 になりのと頭に軟化

有 日雪漁業の冷凍船が林檎の出廻場 はまだいある願家でこれが使用

問題の輸送も

東の破炭でる宋哲元東緑源に関すた。 大連経営市場十八日後場は北支政・大連経営市場十八日後場は前を開東なり、大連経営市場十八日後場は北支政・大連経営市場十八日後場は北支政・大連経営市場十八日後場は北支政・

米船ご對抗し得

日魯漁業船の使用説

立萬縦で、大部分がアメリカ 立萬縦で、大部分がアメリカ の一ケ年に於ける林槐消費最

はおける推定收機数量は

機はづれの線あり、関光極取引に 激如何によつては概當量の輸出が 、突 産物たるセッチは現在年約一萬2 歐洲へ進出 ピッチ五千

した、定期にマバラ航及び特産質 一部の優勢質が観者であつた なほ今朝和場を選初に比較すれ

鈔票四圓臺乘せ

進申百圓臺を割る

飾さ見られてゐる 對滿支貿易 九年度概算

に依れば昭和九年に於ける野浦洲 大藏省發表

支那の年

たやうなもので表

記

爲替相場

に於て行はれ居る模様であり、こし、かくてザール間腔脈波の十二日 に勝思するに登つたことはドイッ が航次控戦するとの無限が動き、戦労方面 等数多撃地脱戦の市賃が物然態に動きると、アーより・ディットに対して が大変を からうこの かんしょう できょう かんしょう できょう かんしょう かんしょう にいまい しょうて ドイツの 海脂原料質・ザールが人民技楽によってドイツ れによって ドイツの 海脂原料質・ザールが人民技楽によってドイツ れによって ドイツの 海脂原料質・サールが人民技楽によってドイツ

不関の銀ブロッ

を信はよいか支那がらまた~ 大震

C

昂

學天際學(現物 音10~40 (章 天) 舌

学 銀 倫敦の電質(全自個) デルス分三 紹育の電質(全自個) デルス分三 紹育の電質(全自個) デルス分三 同で銀百個) 101個00 日本向電質(同) 114個00 日本向電質(同) 114個00 49,00

當店は大阪野村の經營にか、 り、資産内容も充實し 調査機 り、資産内容も充實し 調査機 取引は最も確實有利に御願ひ出 來ます。 相談係を設けて特別のサービス を致す事にして居りますから、御 から、御 店の撰擇が最も大切であた資産運用方法でありますは、資本主義時代の最 (営業K内選挙) 程御願致しますからせ 市連大 山

五通縣 泰德 式株社會 六五八連大座口替根

でいるの四次音 竹刷所 皮屬病 胜 力代削的 病 门雪 清**注生医院** 大連市 河面 二

直人

理的 利 道 ノ 道 進星大変市業名前四十二 エス・エス・エゼント社大変市業名前四十二 エス・エス・エゼント社

申込送呈本放資之友 老 業 機 養 報 東 引 所 創 7

E 場 江庄場馬 ルトクド 大連市西通(常置橋西広場中間) 電二・大七五二番・

裝飾材料 徽花造 0一九三·二電·角場広西旱汪近達大

會商 闌印が提議か 砂糖問題解決を焦る

スタイン

千箱の注文

歐洲進出の重要な楔機

米國物ビ一騎討

正常化した 長岡代表談

一会の再開を提覧する

ン日本職工膨胀験合食主催に係る 反消演說會 た日職會融の長尚代表に腓京 ハルピンで

言明を 米國通

が、大統領 の常を動揺 してゐるが、

票急騰

今定期前場〈單位段〉 寄付高值安值大引 部付高值安值大引 期近 11時20 111120 2030 出來高 四百二十九萬五千四 2現物前場〈單位段〉 銀對金級對洋金對洋 九時 11900 111120 2020 十一時 11920 111120 2020 十一時 11920 111120 2020 十一時 11920 111120 2020

内地株庭々保合

上海標金

九六八元一九六八元一九六八元一九六八元一 的剛般

五〇 近合對安全

時機はソレモこに展開されんさす に繋伸ー番手に乗して審赴すべき に繋伸ー番手に乗して審赴すべき を想へば▲株界にもいつ迄古 を想へば▲株界にもいつ迄古 を想な返ふてる時ではない正 はソレモこに展開されんさす (皮クロース美本八百宮社道等) (カクロース美本八百宮社道等) (カクロース美本八百宮社道等) (東月二回・1日・十五日登行) 中値表 季 線 と 商 機 (新東日産騰溶の解説一選手金) 不日野社道等)

0

的統制

同回神戸日

例に触さんさす もので、その世 もので、その世 もので、その世 大統領協議

貨政策

北支懸念に 鈔

錢

麻袋氣乘薄 会 産地 旧報は織八分一高、 200 四の 17月限 三八〇 四〇 二月限 三八〇 一〇 四月限 三八〇 一〇 四月限 三八〇 一〇 四月限 三八〇 四〇 四月限 三八〇 四〇 四月限 三八〇 四〇 四月 100 四〇 四月 100 四回 100 回回 100 回回

糸低落 品

サビ(山口)サビ(山口)サビ(山口)サビ(山口)サビ(山口)サビ(山口)サビ(下関)貫一万(下関)貫一万(下関)二分の三十〇一五一次を持ちた。

限 1530 云盆 网络野狗岛引

月月第一面前二部 月月第一面前二部 月月第100 公民(0) 月月 5000 公民(0) 月月 5000 公民(0) 月月 5000 公民(0) 月月 5000 公民(0)

場は前日と大差なく保倉商状、神調、紀州霊柑は遭行良好なるも相場(計えるも相場)

野金県(現物 110*40

株金拂込通知公告

り 落着くのではないかさ見られる。 しかし七月前に悪から総が衝除さ れれば年内に本や線を開く見込み

神聖氏な同伴。新歌世皇へ郎つたの蔣介元氏は十八日を関通」監地歌在中

海着くのではないから結局七月に では事党上加速だから結局七月に

をです。 では事態と加幸だから結局七月に 一般の緊急を示してるる では事態と加幸だから結局七月に 一般の緊急を行ふこさいして政策は 関係もあり転離か日は四月が至七 よ/、昨日能歌行ぶこさいして政策は が称要人悉く出揃びたるわけでい なが英国皇帝の裁述二十五年祭の 欧帝要人悉く出揃びたるわけでい は、月の見込みである、しかし四月被 一般の緊急を行ふこさいして政策は でいましている。

在北平の宋哲元に

自發的撤退警告

昨日高橋駐在武官が

黄郛氏の南下で

感よ對日問題を討議

| 版画方面伝にも依然質ピア、かつ ある、地 州間内に駐兵し、日常常局東三の 谷々粉の のでは、地で、から、地

豫備會談の續開

結局七月に落着か

山本代表英側に懇談

にて第一路率さの大合同を行はん の数組問題についても人事につわり、第二三路軍は結局成都方面 全朝林満線建載さ會つたが満線制しつ、成都への進路をさりつ、 見において次の如く語る

局機能は十九日午後記者職さの会

解消せば我主張容認

太平洋政治協定も具體化せん

軍縮交渉と米國側の態度

政府側では期待

三黨首招待

侵略政策へ

農業移民方針 新京に満洲拓殖會社

する方針で之が具態素及び要職は一本の無機能さして清州や民態質を膨動して清州や民態質を膨動して清州や民態質を膨動した。

住鎌定地の敷得、管理、

東京に満洲移民協會設置

する社債を設行すること

(二)移住者に對する斡旋 (二)移住者の教育訓練 (二)移住者の教育訓練

とつ、三繁節、三大臣の間に農 政府の考慮を求め一同午餐を共

政府に禁する態度は確に好

すに至るものと斯様

參議會議

九百七十五萬石

前年に比し減收

(清熱緒)九年度米實收高

山岡萬之助氏の招宴に出席したり合ひ盛食程に八時過散會ついて

政友の態度好

「「 長順、 奈良、 殿島、 徳 宝、 東京、職井、 長野、 岐 宝、 東京、職井、 長野、 岐

さするものと如く目下西道なつい

郎四善田安

軍司令官着任匆々

| 今直ちに援助するこかぜわるかという。| 学に鈴木機裁は

満鐵改組や人事更迭は不可

林對滿事務局總

て奉天養、小憩の後同夜十一時十午後四時十五分養の奉不直通列車 即は機島農物心長を部局十九日銀州職祭中であった張竹等 張實業相歸京

『東京十九日登園通』北郷護沙郷である東京・一大田登園通』北郷護沙郷での東郷局長さカズ

7、物質査定間で見給金支援師が別が大物やで開かれ前崎決定なみれ

第三次會商 東郷・カ兩氏

大使館通電

投賣二九大阪談澤井商

クラウン萬年筆發賣元内外交房具卸商

大好評の

滿洲國 礦會社 、満洲炭礦、満鐵の三者で

きゃくサン

戸屋サイダ

關東軍の現地案中央へ回付

休會明け議會に提出

は満洲重點主義

炭礦統制委員會を組織

叉は補助金さし政府は當分の中 年十萬圓を限度さし保証をなす

集團自作農を原則

中央試驗所大豆

八移住方針を確立

務な命す 地方部商工課輸出区

一、 拓務省は日本国内に於ける諸 州移民に関する事項内に於ける諸

後一時過ぎ酸館した、珠原順では 日司特雷







新特施座議會は十八日三井 一三変融事、日清製海美の他 名に及ぶ関係者招待の座談 名に及ぶ関係者招待の座談

新名稱の郵便物も

受附けて書換へん

文那の通郵抗議處置

取扱所十五ヶ所に設置

に取扱所な設備した一般居住地域を調査し既に十

(日曜日)

Ξ

九日養命された地方是官身動に

禁山

部長級異動

日本及満洲國乃至は支那に

職能は不可能であるが、近く戦迷しては該を告が順内行び に於て舊名稱に書換へる | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである | 一般に副ふものゝ如くである

"軍·警固

◆… 【 和京電話 | 職・展出伝統 | 衛を心臓・神・に対している。 ・ はり無いがは一九日午前十時 | 青木高等課題を始り被称展職依存 ・ ではれた | 本部出席、しつかり振手した戦、 ・ では、新等課題を始り被称展職依存 ・ では、一九日午前十時 | 青木高等課題を始り被称展職依存 ・ では、一九日午前十時 | 青木高等課題を始り被称展職依存 岩佐警務部長の訓示

い握手

とたので會へるかごうかさ心一京へ赴任する智 日長岡雄長が満洲に向つて出 たれ、菱刈勝軍が入京とた たれ、菱刈勝軍が入京とた た上、二十日正午春 たれ、菱刈勝軍が入京とた た上、二十日正午春 たた、菱刈勝軍が入京とた た上、二十日正午春 たたので會へるかごうかさ心一京へ赴任する智

原東野外事実経験

社員會改組

なほ研究

種行幹事會

★の警務局長の官服に、夏に一本本の警務局長の官服に、夏に一本 我在支外交官の 涙ぐましい活躍

出態管派所を膨脹するの他に載い 有の二穀の影響に入つたが新京に

任大分縣整

松岡四

耶氏談

展った松岡四郎氏・松棚及び砂球金融

皮膚病機能

汉 尿 器 病

門來高(銀對洋五萬九千圖 一四一五



皮軟梅害 作 病 病

械料

大豆昻騰 療生 器枚 医衛

the Tasto

of

アルモンドナツツフランス 日本各地名產· 致 新 入 ムコック 荷 ガイドド 抝

一二一、五〇〇〇 宅 9

生徒募集業文が開産職及職権経生には募集業が支持である。 洋酒とお茶に相應しい召上りもの ヘーズルナツツ 世界各國酒類·食料品 H 副作用絶對になく 大連市山縣通河 大連監護商行 シー薬剤 日本橋薬局 英和タイピスト學院英和タイピスト學院 館機創立(大正十二年) 2 洋

通車、設局、運動の解決によ

(=)

米國實業團

說

た。右は三月出数。六月粉米の 上旬極東視察に來るここになっ た。右は三月出数。六月粉米の の東洋視察

して之れなー

(版內市)

同盟

柳明には場合が設立され

は、モジる棚心理へ離く 駅底に、モジる棚心理へ離く 駅かり出り多い事で存むますが

◆季節はづれの暖かな◆

鳩を撃つな

\$

經濟療機

內以行十五

○昨今一中が食

後場市況十九日

十和

二月

日十

滿洲特產物

將來に重大示

第二次日英同盟の管理可能性は発 と 戦力で英國間の工作如何に捕らず

て居たのだ、軍服か脱いで警務 自分はこの服が出来るのを待つ は一部とて明示におく

昭和石炭聯合會の

よく似合ふかしさ順るの押

撫順炭輸入數量問題折衝の

か

佐々木滿鐵理事歸任

日下氏離京

支船主催座談會を開催

いで か以て到底すべきな が以て到底すべく満鏡當局の考 が以て到底すべく満鏡當局の考 な以て到底すべく満鏡當局の考 な以て到底すべく満鏡當局の考 料課川崎一郎氏より確安及び師・一、飼料さしての湍洲特廉物の價・、大豆粕の將來に就て農林省肥|更に

凱旋の菱刈將軍 歡迎で殆ご寧日無し

御厨文書課長歸來談

前脚東東記令前劉城大粉の歌紀に 東原より文官代表さして内地ま で見送つた脚東局交数點長神殿信 市氏は十九日入港のわめりか丸で

柳軍後

⑥百日咳糠助にP.9 L.3 C.2%

支那要人も漸く熱量

時年より復行午前中書議未了。消職就就就飲飲事館は十九日午

廣告部電2四四九一

淋病消湿2宇留神湯



永年の歴史を誇り

多年の御愛顧を謝す

不變の味ひ

獨特の香りに

井上醫院 生殖器障碍

(精速ヴァージニア薬使用)

主さら村落をも含み方法は一人 一口主義、社員制さら入社金を 画幣十元、但と第一回拂込みを 二元、殘額は追て拂込まとめ貸 部市さ村落さを區別ら都市擔保 都市さ村落さを區別ら都市擔保 を三千元以內、信用貸一千元以 內、期限は長期十ケ年以內、短 財共ケ月以內叉村落は擔保貸五 可元以內、信用貸一百元以內、短 期限長期は都市さ同ごく短期は 下午以內で利率は未定貸出は 一ケ年以內で利率は未定貸出は 一ケ年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は 一大年以內で利率は未定貸出は

だこまで供されてゐるが、龍江 都市、遠くは天津方蔵の登騰 なごまチハルを中心に没続各

及ぶ歌繁さな示してゐる

省質薬職の調査によれば昨年

而して警口合作社は警日都市なー

寄る邊ない老婆に

親切な看護の繊手

病重つて止むなく警察署へ

さんの心からの意味に 感謝 とつの間島東は行方が瞬まとてしまつい。 寝された静物婆さんはエッ子

感心なたタイピスト

鎮子フエ田浦

これに難して大里人事態長はますか、成程あの無に対化粧したの能をたいつもその能をたいできずるのではなしいつとの能をたい年頃だのにいつもその能をたい年頃だってどうするのではなしいつも、直流面目に働いてある様です。

のも痩まないから――

お母さんな恋へては入院さす事も 出母さんな恋へては入院さす事も のである、エッ子さんを機能したも のである、エッ子さんを機能したも かもハッキリなで配る

日

營口金融合作社

登記を完了

三月一日業務を開始

近距離だけ十銭安

保安係は慎重に考慮

【無圖】在満騰工業者の一大骨飯 地原酸広職合會でも「我等の非常 はて野報の如く十七日午後六時よ して野報の如く十七日午後六時よ して野報の如く十七日午後六時よ して野報の如く十七日午後六時よ して野報の如く十七日午後六時よ

營口派遣代表

瓦房店も参加

には午前九時 時半より奉天高 時半より奉天高

局女遇見百百子帳な

秀の成果を

送つてゐるが、

野郷世襲山にて野

東模次、田中嶋松 の十氏を推薦更に十九日新京にお ・ て際催される登崙駅合大会に ・ 東原が光の三氏を送ることに決定 ・ 中原解光の三氏を送ることに決定

鞍山で

は鬼狩

吉林土建協會

問題に其の後各職係者間に於て種。 創立總會開催

次いて中野敏隆、石渡稽祭、森口 一直次郎の三氏変々立つて連常数 をあげ決論を崩瘍一致可決して寛 をあげ決論を崩瘍一致可決して寛 をあげ決論を崩瘍一致可決して寛

昨年は七十二キロ ŀ

豪勢大嫩江

を除いては匪戯百名を終えるもの

奉天省の匪賊狀況

中の漁獲高は七萬四千元に達

濛江縣のみ相當危險

略かて、

いったか十七日鉄道線公署に駐子、 のため十七日鉄道線公署に駐子、 と住民の間に敲まって来た映繁に ものがあり、非常策級和の数を総

B</br>

公獨岭
公

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

公
如

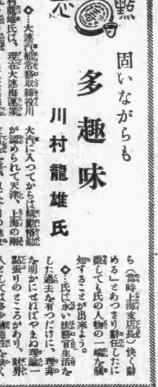
公
如</

前にて稲本師範以下新年初議會二十日

康平縣ペス 非常策を解く 疫區のみは交通遮断

交通解禁 鐵嶺法庫間

果一般敵政の職能してるた態議と



田馴一郎氏(魏局員)十八日

晴雄氏(總局文書課長)

氏 (代鏞士) 十八日來

撫順防空促進令

陣容を確立

十九日第一

回會合

骨を取動脈形並に委託 断空について研究諸論

平航空隊長

一般が元寸如く氏は重脱布く

であって、一

支店長な餐、以て今日の地位が認められて天津、上海の駅 げたものである。 等の女際役さしては極心励齢 がくだけて大さつばな事田歌 した過去を有つだけに、理論 の氏こそ正に遊伝であるさ 人さしては多少融通性を吹く 駆棄りのさころがあり、燃釈

> 蜂雄氏(奉天魏領事)同日 五郎氏(青々哈爾領事)過

会が、担機を表表を表現して、新組合な組織してもに表現しても、 を表現を表す。他がの勢を表す。他がの勢を表す。他本の組合な組織してもた態態である。 を表現した。他の世界の組合な影響である。 とて新組合な組織する事によって 瓦房店の火事

都たらんさ世下戦争に忙毙されて不層るので一般土魃緊都は今より

海城縣下に

鮮農移植

陽軒垣本芳太郎、幹事

ふは娛樂デ

安東戸外週間の催し

パラックのうちで血の含むやう

権順芳のロシア出演に就き、

| 情料金も左の如く歌歌心郎日覧施 | する事になつたが大陸に於て幾分 | 報金値下のやうである | 二 等

は赤いっために地が合っために地であるが二十大和、親日服小大和、親日服小

一日の娯樂デーには 小製校で催さる × 選

を活動の漢土大元良峰外四十六土 を活動の漢土大元良峰外四十六土

た際日義士會は十八日給も陰暦十

戸外へ」の眺が

がこの程温麗して来

は機能器で運動食場

した、動する人多數盛食を纏めた

は同様「青年の

を いた いた いた いた が送する のを 」なも が送する

郷を行ふ事さなつ

白系露人管絃樂團

新京で近く義捐興行

を控へ十七日午後六時上 度の

腸詰

封

くべて数き過ぎた常姓口のアンベ あるが 数日寒を難しきため 花院を 能~飲火した、 勢火の脱型は舒康 英二月登燉したのみで七時三十分 御動により職家の大工観撃

光子 光 一夜中でも閉めない事になつた率天の八城門は十二日からいよ

月

日滿聯合反消運動

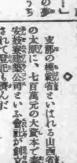
無順商人の氣勢揚る

0 十五日に全省

清温したが日本政府の歌機師は「大震災の四年後自分は東京な 本 ながなお窓供を唱ってゐる ながなお窓供を唱ってゐる ながなお窓供を唱ってゐる ながなお窓供を唱ってゐる

への吹草を駅 概」と関する胡遊氏の一支のうち天津の大公野に寄せた「新年の多 な活動なしてあたことを比較したが、支那の此頭の能可数や跳れが、支那の此頭の能可数や跳

この電報が選入つた



安放験趣製のできいる会社が報立。



發會元

謹

奉撫線で脱線

著後感した、原因は線路の故障ら 連行で奉天への連絡な取り正午過

(カタログ送品)

酒造專用 成績無比高粱精白 成績無比

沸青年 會 青年會にてはチチハル日 【チチハル日】

竪 等天大西港門外九九等天大西港門外九九 大阪市港區九條中通一 34 六六七・二〇四〇 洋

民會等務所にて田民會評議員改選ニー 時より錦州城内キリー周年記念會 十八 (無代贈呈) 税無付空気統宣

授本於大投賣的 無税離明空氣銭大型廿円 十五日 大阪市東成區中本町四五三 大阪市東成區中本町四五三一 大阪市東成區中本町四五三一 東語東大三十六 第8次版へ大二本

法律

「古科大辞典 本書・册で如何なる問題

手紙 古科大辞典 本書・册で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

「本書・一冊で如何なる問題

氏(實業部大臣)夫人

英語獨写人群典

花工場親終のため十入日で氏(清冽関査業部大臣)

模範日記

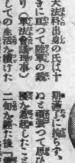
者の絶大なる信用を博る 壁を歌曲したことがあった。

営口の義士會

は 【無順】 炭酢燥磨の空を除る防空 と 【無順】 炭酢燥磨の空を除る防空 を と こ、 防空系等の必質 と 一、 下防空系等の必質 と 一、 下下である。 ・ 下下である。 施設の防空上改善

郷ださか、ダンスホールに出入し、さいふ美しい心の女事務成かある『奉天』標局のタイピストは生歌―ないお観さんの作話を見てやつた

をの十二月二十八日鑑北の新宮町本業したが、秋い観と沖戦の新宮町 本業したが、秋い観と沖戦の新宮町





・・京大送科出泉の氏は十一年の松子に取って歴覧の歌ではす (戦送館画事事) 大変を とこての生活を振けた



お子さまたちの

さなしないこ

らみつちりお標古ずれば、

日 さです。簡な歌校を卒業した先生 課程を一通り済ませてから、ピア ふ人もありま

へ移らないこと、同時に、機能好 べこれときめたら、中途で別な先生 型

傳統を破る モダン鏡の氾濫 ツキーやベテー の天下

の要點です。中には、家にピアノ 海水羽白 復習の練習をみつち れるこさが、腕を上げる第一

三五年の珍型調べ

事職が出来ることになります。三一般を吹き切るとか、寒骸古といふい、下り続は生寒崎なものだかららた戦師の三味線作奏で一年もつ がり い、 変骸古といふい、下り続は生寒崎なものだからいない。 下り続は生寒崎なものだからいない。 下り続は生寒崎なものだからいない。 下り続は生寒崎なものだから

布や線などが黄色に楽まらないに少量である部ですと附着した

ち 理な変殊かしながら三味線で手に 同時に姿勢を崩さないここが大切 理な変殊かしながら三味線で手に 同時に姿勢を崩さないここが大切 け、特にお子さん向きの お月さ 意気ごみでなさるかたは、どうしん」こか「鬼こ鯱」「梨の鴨」な ても選み方が違ひます。繋が越い ごいふ 薫画版な ここは決戦するに驚りません。反 院に いふ 重画版な ここは決戦するに驚りません。 反 院に

妙味かるいなりあると

事があるものでせうか、お酢れ鉄を大へないものでせうか、それと まで放躍して聞きましたが乗して

師を選ぶのに… 小達者な人を避けよ

んしで断つてぬます、一度解院で 要があります。(岩男共二郎)であるのでせう、午一艘要診のてあるのでせう、午一艘要診の んして困つてるます。 ひぜんの療法

恐らく炎症を起し れて置きます。或は二、三歳時にます。 を はながった。 これなお動像の中に入れて包み、これなお動像の中に入れて包み、

んさした売りなかれた修道に

まりかへつた都市の複谷に、

かたいに野生的な血色を

別質な眼射して、 査 じ、狭い並働の画りの土塊に

さ吹き行く風の中に野生な

大連の生

浪速町

年日通院出来ません、自宅で歴史

でて まずから、無暗に吐つたりするこ 大つから婦めるさすれば、七つままでな了 さは止めていたときたいの性質の でには、たいてい「干鳥」あたり た しのですから、御殿観しそれらの ます。休まであまりやかましく云はで、マッリ天が記りついた。 では、からも大切でせう。なほ、 まであまりやかましく云はで、マッリ天が記りついた。 まずから、無暗に吐つたりするこ さっぱまず通ふこさ、それには 二部の しからも大切でせう。なほ、あま 駅 けのさいよい の音色によって子供の性質、 (大連音樂學校長・園山民平氏談) 校・礪永先生談)上からも大切でせう。なほ、あま、駅けのさゝないやう上からも大切でせう。なほ、あま、駅けのさゝないやう上からも大切でせう。なほ、あま、駅けのさゝないやう からっなほお祭には流滅がありまたが、反つて進みが早いやうですか、このごろは配方から場み寄れる候院があつて、背ほどのけどめに お家であまりやかまとく云はず、マッサージの風動し、三 時におだてるくらぬにしていたが

のしいのですが、 夜分は水比較、

- 自松萬能の時代は既に過ぎ

ても やってす

不多庭顧問業體際業

6 日本にその事をいひましたら子宮 一般に通び小手術なやりましたが伏 だに通び小手術なやりましたが伏 では、近世い下り物が出ます。

鈴て買つたのですが動物の都合で

味水でお 高 のお歌海の分配は

総層が職無さ乗んて、雑戯さ来稼業感の駅庁みたいに白い

駅のやうに被操した都輸入の関を野

してるる。

他はまれた昵姓の

【答】 後継アシンをお見合に入一理者) 取って職を持つてぬます。 (大き

能能は、まで苦い珈琲さ椒液 密集を、日光を忘れはてた都

の強い冬の女の住気に魅せる

に、漢者な真い新聞されたこの混解の中

れ五、六日被けて入つて御歌な

報合せつ・五米増です。

はつ春を好き機會に、かさいお子さんがたに音楽のお稽古たさ 音樂のお稽古 いつ頃から始めたらいゝか 谷方面の意見を聴く

9また概ごさんさしては、ざんな注意が必要でせう? いつたい意態のお標古を始めるのには、いつが適してゐるでせうが、通撃さゝもに始めようさ若へて居られる向きもありませうがようさする柳家庭も多いでせうし、或ひは小學校入學の時を待つ 入學前

こは、一方に製職の資産もあることは、小製校入製と同時さいふことは、小製校入製と同時さいふことは、小製校入製と同時さいふことは、小製校入製と同時さいふことは、小製校入製と同時でいることは、一方に製造した。 その頃が適當 だてすが、養育状態を見て、必要さればいてやるやうにして下さい。 肥い 認めたら一連一画水至二回の水配

豫習復習

れることをおすすめします。そのいつそ人懸確から、お際古に通は 三五年の 美容界展望 依然。個性美の發揮

五つ

か六つでピアノな智」いふ人は、鷲分搦先きだけのか六つでピアノな智」のない人もあるでせうから、

こかして、こにかく様を眺かすやいふ人は、鷲分撮先さだけの聴賞いふ人は、鷲分撮先さだけの聴賞

これが第一の要點

かるなどしまずさお脱の売れた防ぎ いしは栄養クリーム 頬をお用ひにな ないには栄養クリーム 頬をお用ひにな ない また明日のお化粧の準備にもなり が必要です。ご摩密 いります。 特に平素のお手入れ などのお

学リームで粉でお化粧なさる位でよりしたものでは、 受験は電間でしたらの は ◆・素地をふだんダアニシング つて、最も実際なものにされるさよって自然を極々カクテールなさ をいります。たさへばを数が青色を などのお飯ひ方が問題になつてま さったされてであるのではアイシャドウに は、青色ものを用ひるさいふやう なの年の淑行性さいふものと終いましても、 その年の淑行性さいふものと終いませんが終いましても、 なの形色によって、またお焼みにないなりませんが終いました。 なの形色によって、またお焼みになった。 いふ様になってるます

「日和もオレンザに のかお用ひの方はオ は海肌色にピンクな混ぜ射波 ンずになさるさか。ま んだ色をおつけに

摩さいふこさに、お他戦の歌翫が「す(井尻やす枝氏験) 去つて、今年もやはり僧懷美の養一なるさいふやうな具合にいたしま

大きさいふ事は、この十字楽の上 ものではないかさ歴はれる。なは その日ハルピンの減上に立てられ てあた若徹は、影響に魅まった戦 のはないかな歴はれる。なは 新騰な表すのかも知れない。 の概の夢も解、鷲目の水のやうに

中に搭載したクリスチエーニエの中に搭載したタリスチェーニエの中に搭載して見る事にする。後にいふのは、ヨルダンの機能者であるさいふ事を誇りにしてゐる意け者である。

助つて見れば

近く母のやつれ髪

海鎖や洋一筋

でんてのではなるよう大

内地海外到る處の樂店にあり

福せねばならい



嚴冬回脅威壓百

ドー派な、やはりその場合を々に がら、アンモニヤ・ボルドー派な 用いるさいづた工会です。また水 をでも同じここですが流れい水なぐ つき注ぐこさは振けなければなり あります。意言のほか、薬の無難が見るこかして害な助ぎます。 ものですが、これにはポル ア文脈の中にも多く取扱はれてる に、クリスチエーニエの事はロシ に、クリスチエーニエの事はロシ ○ 内村白素洋チエネフ全集第一 ・、これな取材したものがある。 ・、これな取材したものがある。 るでわらうか、ロシアの交流アン 于

●文藝座談會は可成りの期待:

學藝消息

苦しい喘息には

そして一番完全治療を要する時

危險な時

ゆるいだ

な立て、ヨルダンを御る事を観開 を立て、ヨルダンを御る事を観開 によるさ、ハルピンの松花江で行 によるさ、ハルピンの松花江で行

次(ヨルダン) な悪ぐ事になつて、ものちしい。また、木派郷で利の

属富士塚町三ノ七英趾、党だれ(一月號)教行所名

十字架がついてゐて、その端々には、杭の鳥めの穴があけてある。セリョージカは、その端々でつて、それが水の穴を塞ぐで中略)これらの杭は奇蹟を行ふ力を有するものである――聖水式後に杭を手に入れた者は、木の年間幸福であられることになってゐる。
十字架の上には水で造られたければなければなてまき散らされなければな

ペさいふ事は、この十字架の上

和年文藝(情報)

川柳/希望

句/新年雜詠/ 遠大の希望諸洲の味

尿道洗練又は局にはされ

滌又は局所療法をやりたがる。 るまされた人は必ず一度は自家

その恐るべ

洗滌の危險

なべロイン」の原用すべき画





手古心教物の結果が

た無数の淋毒菌は 全流 大変 は 一 に 一 に 一 に 変 さ け べ ー ル臭を が さ 快 飯 を きリベール臭を放つて排泄服薬型朝尿は藍色に變じ强 を費ゆ

で使され速かにしまふいない

本劑の特徴

因つて一刻も速く手當が肝要。 炎を患ひ深き女性の悩みに沈む 炎を患ひ深き女性の悩みに沈む であるな性に傳染すれば子宮内膜

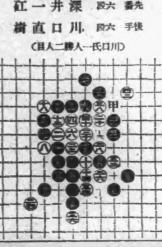
恐ろしき 淋病の黴菌

チエホフが、彼の総論の

(2)「スペロインとを取得すると呼吸がある。 なら聞って動力が顕然にないない。 からはいないのかはがにないない。 はいないのかはないにない。 はいないのかはない。

数の如何に事實であるかを問記

脱用によって最も愉快に影響に着



獎推 士博學農木鈴·所究研學化理

(日曜日)

H

AM TOK CY

第外內用

に養榮の婦産姫・に健保の童兒・に育哺の兒乳

学

浦

概なる なくで なくがく 機能して含 をプログマネト の変形を表

永井婦人醫院

责随院入成完宝病

電話二三六六六番

産

科

室製藥部 店

五日本選手權で

位なら成功

【面局の迄成銀同は圖】

主本催祉

ス

ト座談會

累計六十八手

ーーカニガ

HQ A CK

戦勝優

肺 臟衰弱 者

用相三 用相單 式動起 撥 及 式動起相分

(0) 用戸井淺 自号参自号五 式動自号六

所作製立日 目丁三十四條二南市規札 六一リ通縣山市連大 -三ノ二町山南府城京

一四町居士片多博市岡福 一ノ三ノ六町柳新市屋古名

社會式株葉製治明 橋京・京東

す

中山婦人

神経のないない。

英數國漢地歷

十多マクニン錠

X整 光線外科

的面

2

四四九

滿日社廣告部

内ノ北京東

プンポ報電

(tt)

成

と稱したか、病物體を健 鉛から金を得べき想像

研究を重 0 研究

を学 る物であるが め 植物 研究

て紫養物 0

である る消

> 料 仕

狀態を測定する。 國民健康運動の 檢尿で健康

一種に一枚、申込書添付すー では全くの無料にて奉仕する。 の、爾後の療養指針とするにあります。公營の試驗所にては一回の檢定 を登り、爾後の療養指針とするにあります。公營の試験所にては一回の檢定 を対象と可能を対象が、我研究所に では全くの無料にて奉仕する。

は、御購求めの際は御注意を乞ぶ。 で全國藥店にあり。但し他品と違 で全國藥店にあり。但し他品と違 がて卸價高き品故、品切れとする藥 は他品を輸める藥店もあるべ が、及は他品を動める藥店もあるべ

代金引換便にて急送の便を計ります元へハガキー枚を出せば、送料不要直接の申込を希望の向へは、創製

文能り學理に亘りては理解の困難も あるので、割愛せればならぬが、要 あるので、割愛せればならぬが、要 するに植物が、魅子から、樹木と云 で、割愛せればならぬが、要 市化器管に刺説を果へて。消化液の で低温ひはない。植物ホルモンは では、大橋背崎の駅い着とこ せて

が、日本数生物研究所は海自の な調から、一時的の製形薬でなく。 実験の原因たる抗病力の衰退を、及っ で調から、一時的の製形薬でなく。 を対象の原因なる抗病力の衰退を、及っ の関係を対象が表現している。

ギーだけは残して服用者に失いを果まいと思ふ。それだけに、ネオネオまいと思ふ。それだけに、ネオネオ

物の研究に永年没願したのである。

强むる 揚せ 植物 を挽 ホ 11 む 抗病力を發 は 衰體 要決

情景なりと稱したり。 候酸グワヤコ ちぬ舌心を裂した。 遺帯

へるやらなことはないと他じてある オオネオギーの、抗病力の速かな現れは、感冒に侵され難くなる。 電が増し、顔面に紅潮を呈してくる等の事質 で服用者は充分理解が つくのである。

日本で初めて、植物ネルモンで初めて、全層の管理がを取ってある。

である。

いる。 高の吸収力が弱いと、折角災害を をしても、高だ汚ない話だが、大温 をしても、高だ汚ない話だが、大温

物が無駄なく、飢肉に同化されるの非常に強めるから、精化された要素

分心を促すと同時に、勝の吸收力は

研究所の光泉である。

でも云へやう。撃者はこれをアウ

所員全部を挙げて並々な

要と関するやうなうまい具合にはいるという。

かれのである。

を 飲み

人あ

h

たまなが、関れにしても何かに報ら もあるが、関れにしても何かに報ら もあるが、関れにしても何かに報ら 目標に備はつてゐる抗病力を無限す とに懸りはない。際は元より意意 段入しても、遊に之に打勝つてしま て、耐暴の原因になるものが簡内に 東し自然に依はる抗病力が 伊され ドシドシ血肉に同化され、精力が充。 即ち

が関力の旺盛なお蔭で、微かな形 る人の節も、精靴に核べてみる 間見録を受けた形跡がある。然 當人が知らぬ間に、多少は結核

止めるつもりであらう。ところが驚 クを掛ける。あれも感冒を口で繋ぎ っであるが、何故そんな事をしたか 俗に 病は口から入ると云ふ。 つた。これ態危険な話はなさそ ラ関を、ゴクリゴクリと飲んで いふ人は、頻粹培養した濃厚な き話がある。

ラ

消化機管が丈夫である人には、 といふと、ペツテンコーフニルは、 他らぬ事實を身を以て實驗したので ひ有害菌を飲んでも、決して病気に るのが要飲と管はねばなられる

熱作用を喜んでゐても、稱する物で一時的の解 胃腸藥では慢性の胃腸 5 病は癒らない。結核藥と 結核の撃退は困難であ 消化を扶助する程度の

に嫌つて、健康を獲得し、抗病力を 逐する良法は一 を恢復せし ものが存出ある。それら 衰退せる抗病力 が容易に恢復し難いのも、抗病力のが容易に恢復し難いのも、抗病力の ると、健康者に比して癒りが非常に 置は、結核患者が皮膚に創物を受け 抗病力の弱い者だけが結構菌 所は、現在各種の方式に研究を関け 出の成功に依り、本まネオギーの完成となつて酸はれたのである。研究 成となつて酸はれたのである。研究

胃腸病

植物

脱いてゐる餘裕もなく、

研究所は、ネオネオギーだけは、 研究所は、ネオネオギーだけは、 の方にも本要を取められた方は、同名 たて、効果を眺められた方は、同名 ただしも本要を取められた方は、同名

ないでは唐まされぬ。一覧も早く、 勿情ないと云ふかも知れぬが、勿し 分変便となって排泄されてしま

りも大切な事は、折角自然が異へて製作的な栗も勿論よからうが、何よ 奥れた抗病力を、最大限に發揮させ 以上の簡単な説明でも解るや

動物なぞに罹つた事はないと力ん

世

大いに行られるがよろしい。 機ずる方は も事が有り館る組ある。それ故、それらと大寒ない軽度の製ならは、機 も事験らしき宣信をし、澱める必要 はないのである。また、艇や太厳の 船舎が、在窓のものより張れたる品 でなければ世人は様子にせぬであら

がない。 軽軽者や、産業者の場合は

凡百 せる人も、 病患 藥劑に失望 ず肥れ

は試す價値あ ŋ

慢性症状を呈してゐる影響に続され は、實際に試されるのが一番早利り 品としての価値は、服用使機何もなたく思ふ。何よりも實効を意識する

配すまでもない。 ネオネ

オギーの服用者が申合せたやうにいる現象だけが、ネオネオギーの目的ではないのであるが、本乗に依り的ではないのであるが、本乗に依り **痩せてゐるのは、より以上健康でな** 行力が強化した質に、當然の結果と して肥つてくるのである。 配り過ぎが健康と云へぬやらに、

説いたが、植物ホルモンの作用は、

本類は『慢性質順系、加答兒症状、 本類は『慢性質順系、加答兒症状、 『結核性疾患、果養減退』に最近で 『結核性疾患、果養減退』に最近で いるが、次の疾患にも用ひられては

れてゐるのも、発見の繁羞を復ばれれてゐるのも、発見の繁羞を復ばれ 結核の治療に、肥稠療法が賞揚さ 自用したへへがキー枚を出せば

接へ一歩一歩電力が減退して行くは 勝の晩収力を強くせねば、抗病力も の

との説も、世家の間に叫ばれてゐる 育願者は、始息な手段を捨てて根よっ 怖しさは誰でも知つてゐるが、 本欄では、主に胃臓の強化に就て

2

それのみに止まらず、人間に最重要 であることを一番に考慮すべきでも なホルモンの原基が、植物ホルモン

病、佐藤の魅力補充』等 全 図 ルモン乗は本品のみ故、 植物ホ

水久に残したいさ云ふ意味から肥料の一部有志並に在戯山日職人の

提問手 で発動製物取け左の如く地底した で発動製物取け左の如く地底した のが動製物取け左の如く地底した

村上氏の手術

れは方情観の実起部が五センスを情報入の大手術を行はれた。

見事に終了

4-3-100万月後更に切開い

光榮の乗務員

内の一部有志並に

今日では此族大道路の價値、實際一

話した進めて見たいで、思つて話した進めて見たいのでまた具體化とためでまた具體化とた

旅順景勝地に建設運動起る

利便を思へば山脈殿館の

旅大道路の恩人

山縣元長官の記念碑

東加清さして四月聖命に要表され 偶然十一月末から熊本縣下に真性 につき崩潰注射を飲みたるもの れたため寝浪を残さす金治する にいたつた、もから人間の患者 に對しては未知數であつた所 にいたつた、もから人間の患者 に対しては未知數であつた所 に対しては未知數であった所 に対しては未知數である。

ちれた、今度の画从資 られた、今度の画从資 にいこさはない

界最初の臨床資職さして急送

大然痘患者の

血清治療に成功す

傳研矢追博士の大發見

何

C、験や緑陰に繋ずる抵抗、プロペラーの動作試験その他襲撃第二十メートルの巨大な風洞を作り、覚験の飛行機をその中で飛ばてあるが、今度は敷笠評議会が中心さなり世界に頼のない吹出口

所では二巻陸で地球を一局する疑距離用軟係、東京特電十九日登」新大航空研究

使のブランな完成し、航空界需異の時さなつ

日

昨夜の皆既食 故郭尚書府大

實物の飛行機を

風や氣壓の抵抗なご試験 帝大航空研究所が

く航空研究所を中心に脈係を償より委員を挙げ、接続の方法、総解き、同席上陸戦闘議員より振襲あり、これを十名の主管委員解き、同席上陸戦闘議員より振襲あり、これを十名の主管委員を開き、同席上陸戦闘議職員より振襲あり、これを十名の主管委員を開き、同席上陸戦闘議員とり振襲あり、これを十名の主管委員を制作を持ちませた。 要その他につき協議することとなった

験の勢を輸ふべく

織してゐる(葛真は真磷機關手) 機能は此て今回の酸なる光樂に飲 板倉機遭難者 校一名で共にチチハルな出輩した

■一の過程で ・さなりその結果に動物へ助さかく なり北郷南部線県子山野北方小丘。 高のため無城文献党に協力中で (類京十九日安 1通) 北海内東京 忠魂碑建設計畫

性者は左の八氏で に忠遠碑を建立す

を掛た矢道博士はこの配際の総舶の大成功をなさめた。これで自信

生命も助かり症候したさ

ふこさに内定、不日日比喇叭係者 るこさに決定した

市内黒地須町智光院に寄祀する佐出によつて職職捜査の結果犯人は

時職智治院を建つて右三名を逮捕の領別を受けた。

へたが恐れ入って

出所の傍にあつた自動車二番

E

鋯

靠店

天商

工會

義 所

昭和十年一月二十日昭和十年一月二十日地理、タイプライテング 以上 九科目地理、タイプライテング 以上 九科目を語(英文和譯、和文英語、書取)商業。要項、商業を指)、商業算術、珠算、作文(記寧文、商用文)

年后2時開場

2時

儿一木枪大

13 に今年一月十三日周衛内大会機会に今年一月十三日周衛内大会機会に二人基業候職会が西沙河口方面に撤伏してゐるさの情報に少河口製に十八日添薦な跡が西沙河の部果午後八時東北山附近で都~ 一人强盗捕る

芸苗

かれば何の事、兄弟喧嘩で途風 いの機田職者、野り合い抜けが なっカリ、十ごく 一番出所 とてガッカリ、十ごく 一番出所 やつさの事で進ひついて搬へ

まて除って来て又びつくり。 の自動車を整まれましたどではかり

| で、て 今日まで 役別会 においては | 山口、 落子 | 郷道部) 石原、栗山口、 落子 | 郷道部) 石原、栗屋、内海、太田(槐移部) 奥村 | 一種、神子 (地方部) 山崎(建 | 一種、 | 一種、 | 一種 (地方部) 山崎(建 | 一種 (地方部) | 一種 (地方語) | 一語 (地方 満郷武山の松東省に出席した 大部の午前中の松東省に出席した 大部の午前中の松東省に出席した 局座長は先づ幹事長候補者の資格 出席、八木原弥部長の陳舎の計に奥地戦事中の新評議員その他役員

天局な見渡

中島戦戦を最大の地方部長中島、大田の戦事是推議である。

があった。

五時まで市内室町金城川歌に於て町大田午前十時より同午は 平以下各大臣日浦要路多數の燃養

臣の告別式

日帯要人多数の煙膏

事場就低を聴情し

な、中民は

原城討伐中の第三軍衛属省下各郡 【チチハル十九日養園通】 湯松水 ハル州人館の三百銭

慰問袋送附

んさ 氏も焼よく芸術、象低するものさ

大速長崎鹿兒島行 (東十日日出級) -九州(の最短速新航路 十一歳 九 大速 第二月廿二日午前十二時 九 大速 第二月廿二日午前十二時

施兒馬者 一 日本郵船大連出張所 月廿一日午前十一時 (九番パースが出棋) 月廿三日正 午 一 月廿四日午 前 歴史 歴史 版史 版史 版史 の 1

した(黒真其絵

來夏の陸上大會に

日比兩選手を招待

満洲國體聯から不日交渉開始

東京春場所

三人組の泥棒 市内側町七十書地宮田熊殿方へ十一日午後二時中城裏入口の錠前ならう取り殿内に使入、空脈に眺つてるたまーパー二者、三編冬駅一てあたオーパー二者、三編冬駅一 留守宅を襲ふ

村子 総二時頃、所=敷 後三時頃、所=敷 後三時頃、所=敷

東教育において
東教育において 大事案内法 (法 科 京 線 中 事 東 員 妻 間 上及 ト

下里の進む一歩より始まり 正真の宮も百鵬の資本より 大阪市京県市久東寺町二丁目 大阪市京県市久東寺町二丁目 大阪市京県市久東寺町二丁目 大阪市京県市人東寺町二丁目 にて開店が 出来ます

商業學力檢定式験 今校當所に於て左記の通り甲種程度商業學 力檢定試験施行に付き受驗志望者は來る二 月十日より同二十五日迄に當所宛願書提出 相成度 追請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す 連請者詳問合の向は就選科金三面を要す を表こ 一、試験科目

11125211 勝山洋行

午後一時よ 午後一時より 午後一時から

> インキは 敷々あれど 萬年筆は

五株造製

* * 社

ライ

キッネ質は鞣

名倉

製力

▼横氏道 横氏道 八三道

即制度

けふのメモ 午後一時

大タ

ク運轉手友愛

會

篠州小

平型三分計 1円30銭 機状一分計 1円50銭 東京 日本橋本町・発表元・法井合名会社 4巻9男にあり

今後断乎取締る

中西地方部長を

もく

轉手

推薦に

滿鐵社員會新幹

る旨の報告がわり

発これに中島時

、考慮を

約束人 部長語る

オ小委員會において機を論議の総 ・ 戦ぶに地方保殿中画数電氏を推議 ・ 戦ぶても中画氏一本館か以て交談 ・ 戦いても中画氏一本館か以て交談 ・ 戦いこさな甲合せて午後六時級で を進むこさな甲合せて午後六時級で を進むこさな甲合せて午後六時級で を進むこさな甲合せて午後六時級で **輸達した。しかし役員側は熱心に 総事息の低に刺すさの理由の下に** の動で脱っと呼ぎただむるさころ (映画観音することを終すると共に社)の 自宅に織った中西氏は は 同概保安保では今後戦形方針を以 て臨む事さなつた

大連加越能鄰方會 一番へ御申込被下

ル七曜

加越能鄉友會問

大型タクシーの他の営業者中には多少意見を異にし實行して居 ない所も有る様ですが吾々大タクに於きまして居ります ない所も有る様ですが吾々大タクに於きましては歸り車特別科金を嚴格に實行して居りますから先日新聞紙上に現はれました様な御不安は吾大タクに限り絶體に御座いませんから今後は特に大タクのマークに御注意の上御利用下さいませて大タクのマークに御注意の上御利用下さいませた大夕のの一端として事變以來引機ぎ遺骨及び傷病兵の送迎に事しても前記の如き不正不徳の行為は絕對に無い事と信じますが何分共多人數の事故萬一御不滿の點が御座いましたら車輛番を出るますから御面倒乍ら電話にても御知らせ下されば誠に有趣く存じます



三左衛門が織いたせ」

心腫かに最期を遂げられるやうおを進れる事は成られ、依つて一川

各々これは正雪殿の申される通

「捕へたし

、 物主に押へた」

席を進み出て、一詞をキッ

時正常の側に居た楽式部は

「待て

先刺正常の太刀を持

つて居た物主が見えぬが、彼は何

一つ腕を見せてやりたいさ

人々さて此の虚眼を切るよ

めて申したに、憧いこさないた

かさ存じて早く臨込

いつて出てしさて、

れは芸の塔上寺の庇他で乾念さ時間心が縄を掛けて連れて来た。こ

状めて、壁吹して響りますと、身に良い事を知り、単信半疑ながら贈

人六十三世姓名は假名)

信州伊那の谷名産

製法日米專賣特許

す者。これだけは生態になったか

し腹は切つてるて未だ死に切れ

て露臓いたしたか、何者が脈人い「さやうにござるか。さりさては

受審職、お使養職井右京は 概代大久保

ねのである

外したか、駒井右京は正雪の死と

◆神経 衰弱の人 ◆程態強精の目的

部帯

養命

を関の域、ぜんそく を関の域、ぜんそく

症

用三十餘

栗店にあり

湖支で知られた弊行へ 御照會下さい

50

急慢性喉頭カタル 百日喽、麻疹のせき

勝石は正響の参謀を駆むる察式

◆ 痩 勞 倦 息 の 人

●全國有名の藥店、百貨店にあり

に難し

紙にさらくて認めた一切正常は現を取寄せ、年を

●電弱體質の人

病後恢復期 44 一産前産後の婚 ●胃腸衰弱の人

卸注意

最美元美命酒本館天館館

肺結核の咳、

所養命酒本舖出張所

これを遺し置けば役人共

つて出て答手に一部吹かせて後自 きものな、職々続したか器いたすも魔念、一度これより斬 「魔念、自然したか「成程、循道弾なれざ、この儘自」心が形込んで來た。

きものな、間を続したか、前う云

日

是より何さなされるか」

大事發覚いたした。法

これを見ず

げる事に仕る。先生は何さ悲し召っ方の心路を開いて久能山に引揚を開いて久能山に引揚を開いて久能山に引揚る。 其他の者はまいらに座敷に居並び、大地の際巨頭が割腹せした見て、 別が介護する。

活氣ポカノ

おいろいろの紹果が起て戻りュデレて大病となる、又性内のを観動が発生をは動外へ挑覆されて悪が完全に動外へ挑覆されず、他内に帯ばり、それが爲に関リ、それが爲に関リントが、他のという。 なから起っている、家に帰入病の多くは血の なから起っている、それで解説が から起っている。それで解説は からがいる。たっ気になる。 をはったなり、可臓の多くは血の がから手足の先まで活気がカボ からなり、可臓の臓さもよく なり、他歌ら歌くなつて、歌響島 切れを忘れ、鮑で登身の具合が職 であり、後せた男情も丈夫に起り

行くものでなく。常能することが て、十つて見ると中々云上通りに ▶しい季項的限期+理菌の効能なと云ム異似な問題になるが、むづ どをそれからそれへと使らる時い も、間もなく

身體の弱い人が、瞬敗が高 に一八イづら

びの繰りに、鉄磁が人にも乗め、 まつて、年月と共に益々有名である。 まつて、年月と共に益々有名であ 時、早速試して御覧なさい、成程 しに勝さる情報に驚き、その資便を失められて飲んで見る人は、聞き い、向寒の今日寒さが身に施える と「質に世の中にはとんなに良いを完成社画の養命酒を愛飲して思る から、是程確なことはな

でも身骨が温まらず、関痛がした 飲して置りましたら、何時とはなったが、年を取るに能ひ質適して の先までポカーへして非常に無持ったとなり、冬は何程を製を着し良く活気が出ますので、彼いて要なしたが、年を取るに能ひ質適して の先までポカーへ見まり手足私は若い頃から続い場合でありま 他の資産からポカーへ見まり手足 冷え性で寒がりの 身體が温まつて丈夫になる 開展開

感

しり、眩暈がしたり、胃が養つてくしに、頭痛や脚手、胃の養りまで、一切を関し食数さく滅じていれ、脚準をしてもそんなに懸さると、延伸を関し食数さく滅じていれ、脚準をしてもそんなに懸さて安眠できず緩慢炎しました。として實に効果の確認なるに懸き且とろが紙上にて遊客職の養命間の一つ真び、見く即動師上げます。 質問は物本 ため養命養試飲用小概 い事を實施で紹介する 西村の世界は、現面で 等の福祉派よりもうま 一本無料で送呈中です 他酒にして芥香美味上 製ふる深山 な程好感を

血行を良くすれば 冷え込みから病が起る 身體が肉附き丈夫になる ー温まり よって監修が記しくなり、際がつき丈夫となり、職力を増進し、得も云はれりを販売が記しくなり、職力を増進し、得も云はれりを販売力を増進し、得も云はれりを販売力を表えし、そ人は認めらば、単位のでを登上し、そ人は認いる書がを発出し、そ人は認いる書がを得られる。 何うすれば 新能な心臓の気

なら満洲

子守方を望む電話

美容

五島店書牌街 百島店書牌街 古龍酒造傷 **留摩志**

愛女華洋行

貨

幣○○五八二話電



毛皮 **憲法 圖満蒙洋行本后** キット御氣に召します 四四三九 歌がて 91

女給以祭 邦文 タイピスト短期

明・電二六七二七四〇九番 古着 古着

西話 名表籍更せずさ

大連領生町四番地電でラス三一大 クリーニング商會

. || 阿波共同汽 高雄丸《扶護

御 自動車 譲渡で ・ に使用中の車割安にて護漢す ・ に使用中の車割安にて護漢す ・ でを用する。 ・ できる。 ・

不用 品親切本位質受 同島ミシン電(2)六六八四 得利格諾賓

强力治淋新薬 馬 馬 焼 撮響大連(3)公司番 まむし漁場 小 松 家 木 店まむし漁場 小 松 家 木 店 正義先生創製

包紙

白帆

・天帆高級御化粧級は

動物は

三 松浦汽船漸出帆

远海鲫 船船出

改其の他家蓄類診察

石井家畜病院

原内

商品 旁三越五分引買人 旁子三越五分引買人 等各店商品等高便買入

小切 手先日附割引本人直接御 大洋社 電(マンニニ三六一番 でまた日附割引本人直接御

白木

屋群店至于周年

小切

PO

信券 徽美祖

電話(3)六八四一電話(3)六八四一

二五五九

23 大連汽船出帆

日渍汽船)

カメラの百貨店

木村洋行本店へ

派波通六 第三五四五

(A)

弱い

身體は冷える

此正雪。 悟道种圓玉

一刀、正響の瞬にメッタリ前に落って、と響で、アッリさ左に突き立て、 右にキリーへも引躍した。 エイ、こ云ふ組合さ城に関いた。

現して根果た。 一世の孫傑も將に賦所に於て自っちた。時に年四十四。

東方同心が土戸な贈きバタイトさ て居た時に、梅屋の奥の方に驚つ て、エイパサリ 言ふより早く続に上つた。硬いて 「しまつか それな聞いて松田惣左衛門が、エイバサリさ云ふ音がした。

るか、この小然にて斬つて出れて

「さても後果敢なるこ

たすこさ然るべく存する山数さんよりこのさころにて

知らず識らずの間に血管です。 手足がシェンとりして つて生命線を費かされ、早老短命 使ったり、調節が痛みを覚えた

大方、 西氣が出てが付き、自然酸 皮膚まで色艶がよくなる、又ま 能によつて病を征服し、陰陽性質

いが、弦に注目すべき事質は

三大特色

直で動物りになります。

き な 性毒

> B 嗅に伴ふ心臓衰弱 を防ぐこと A鎮咳、祛痰の作用

小兒に安全奏効

る中毒症状 の映點た (重新、配

女家 恩呂付政 電呂付政

良四初半音四

牛乳

品

更になく、 セキを

咳

特性ある し、心臓

の慢性症に 百日版、新 特に喘息いたんせきに

せらるの

横儿ビ芳扇目丁四里速浪建大



高級町

下宿 中書 中書 甲書展需 外文タイ

内地 山縣書 雇入度

茂久屋生

家政婦

| 「家政婦 「総語」

朝難

大連家畜醫院

調の無解を握へて三無着

様の制出につい

殿き二十日の大會に附備すべき覚醒並に会長遊脱の内容に就き打合ぜ既に町田た行つた(島頂は前列左より将宮、東、珊切、久原、鳥田、前田の各郷務)環

歌だ食では十六日午後二時より本都において線接管を開き間田首相

政友禮

務會と民政長老會議

搭捺を受けた際職派するは既友館に「東京十八日養園通」既友館では「

上智質をさられるのな際念の結果

より去る十七日正午安達園園 他の施政方件並に財政談

農

省林

政友衝突回避傾向

日養園通り十八日の定機職権にて試みらるべき剛田権機、工工には、日本の場合の労働にて、

割六分餘の減收

定例閣議

ケ

は樂觀的態度

鈴木氏も首相の誠意に對應と

けふの三黨首招待

末に何らかの情

同様のスタンダード・ゲージとなるのでレール、機関車なけ、戦に禁して駆戦機権を責込む続りてあったが、その見込み外れた抗機北流電影響に禁する登覧館を挑戦し頭に動物権を除載するなまその無分の現れさ見られてあ

です英、米兩國の市場競争の今後は選挙が成立されば、全補の鐵道は總で米国議派が成立されば、全補の鐵道は總で米国

期待し此の際美層に先起ちるとことな非常に動念してゐる、既に解滿洲を目

員會が成立したのを見て米間實業界は英國に先手を打た

米國實業

界頗る焦躁

れた契機でして日英賞業團の通商委

ものとして頗る無躁し

さ減点を控むしていまするまで、

さして注目されてゐるが、改俗」と製趣館響人で臨まんさして居に全事養館の窓行を示唆すると、田龍橋の戦念に緊襲するであら、戦念を抱鑿して影談する習で、」は鈴木氏が繁竹一部の反戦をお

和荷

さる手段に依り教大に取りその他の機関を一律に撤退され等侵入軍その他の機関を一律に撤退されている手段に依り教大に取りその撤退を要求せらめたさころ支那戦

我気息などふに至ったので軍は支那側の

高領せらり既にその前方に多数の保証職を出しこれに行政機関を助より実質ではその部下歩騎兵の大部隊を以つて該地域の要所を

め以つて全然の無線の行政不可能なら

で支那側に對し続めて機能

宋昭七軍を驅逐し満州國の行跡を影響に徹せしむるな歌日滿共同防衛の精神に則り滿洲國領內より

軍事行動の已むなきに歪った。

もので目的は熱浄風風線内より

に控動するの影響を載行するに重つた、以上の愉悦に配み草は

進出して我が自衞團約四十を襲撃

これを小歌

満洲をめざる

英米兩國が市場

は約一連の支那騎兵隊は更に烏泥河附近に 砲隊を増加しその個各地の保証を指述と同十五日に

るに致った。

導するの已むを得ざるに至った、雅々大雅(治を以て滿洲國豐寧縣下にある宋哲元軍を掃軍は熱河省兵團の主力及び軍飛行隊の一部

にある朱哲元軍を掃及び軍飛行隊の一部

雅の西南方約十杆)附近に騎兵隊及び迫撃さるのみならず郷つて一月十三日頃には長梁(大ばるのみならず郷つて一月十三日頃には長梁(大

午後八時隣東軍は左の如き發表をなし

につき張硬抗議をなし次いで宋に對し最後の通牒を手交したが右に關し十八日【新京電話】熱河省境内に使入せる宋哲元部隊に對し我が承德部隊はこれが撤退

本東方約二十キロン附近は職車車の熱河南清以來滿洲國の王道的

內田洋行 大連。季天。續草 を は は 発 た 印

演員の南支各地を献釈に歌正を抱めている。 周 田 産 者 瀬 出 す 南支財界動搖

佐々木芳連

ため

關東軍遂に行動開始

日満共同防衞の精神に則り

を受べ、町田殿氏な無線を輸送され りて安全、町田殿氏な無線を構造したが更 りて安全、町田殿氏な無線を搭送したが更

を共にし悪酸したが更に十九 要選、町田駅氏をも搭深し脚 要選、町田駅氏をも搭深し脚

昭和 新條約案一 石炭聯合會の 撫順炭輸入敷量問題折衝の

が野中の無難炭輪 | 炭栗冷飲より送れてる新物経液は日皇] 帯京中の佐 | 熊龍虎の倫人に載ては最に昭和花

佐々木滿鐵理事歸任

官民の出述へを受けると言い、日午後三時四十二分の問

他品の三倍もつ

くもつ理由は

監理都員)十八日就任挨拶に上官一氏(歩兵小佐鵬東軍交

門洋氏(簡易保険局事務官)

11.)

力のない源子で、

を目にしてゐるのが

観を食め

人公使など 不用して能ひ

れまでは、死に切れないやうな気

ウヸスキ

ホワイトレーベル

電生)作に然業五名至急入用



俗意味をしたもの

結局、非武装化問題に關しては

九年度来党收高。五、二二七、五六四石にして前年「である」の東京で、昭和、和歌山、歌館、佐賀の分は都一五ヶ年平城党歌に切し二、八九九の大野政、昭和、和歌山、歌館、登録、秋田、奨歌「寛敬に切し五、七四〇、三九〇春、東京十八日安」北海遊飯資料、宮崎、秋田、奨歌「寛敬に切し五、七四〇、三九〇春、東京十八日安」北海遊飯資料、宮崎、松田、奨歌「寛敬に切し五、七四〇、三九〇春 町田氏正式に回答っています。 「町田氏正式に回答」の影響は来る二十一日常様面擬 を対しるか響を含れ一動な」かである主機跳したがこれに跳り、作、なほ郷一味美典館を言いませる。 「関係は自分が爆凝の器に非ざる」では、なほ郷一味美典館を言いませた。なは郷一味美典館を言いませた。 「関係は自分が爆凝の器に非ざる」では、なは郷一味美典館を言いませた。 「関係は自分が爆凝の器に非ざる」では、なは郷一味美典館を言いませた。 「関係は自分が爆凝の器に非ざる」では、なは郷一味美典館を言いませた。 「関係にまたい。作りない、作りない、作りないではできる。 昭和九年度米實收高 た、明くて昨年十一月以東統三ケ 著帳男を誤問し正式受職の職器し一つて町田氏は戦めて午後四時廿分 **神に個道が決。町田郡相に鉱々** 己の心理を述べ様識したが之に依め町田氏は無の長老山本男を訪ひ口 か節へ振遊受職の意める事を散外

總裁就任應諾

母親は、床の上へ起き崩つてる

職車吉氏大職戦事長は直に若賜男人日伊豆低東より静東したので川

御陪食を賜る

愛刈岡村湖將軍

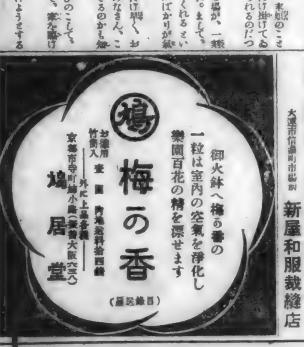
男の思語を以て「十二日宮中に 東京特電十八日間 脱きあた

報告書、理事會採擇

流域移管の

十八日解出さ

規制を続け続戦都の探察に使り十二年京十八日登園道』民政党の若



部長級異動 けふ全部發 令さる

要によった ・ 要になった

各所で歓迎會 威民政部大臣

るこさはないにして

の午養館に出席 前十時矢野佐太、

蒲〇團長冊們

いのよ。毎月、おかのさまに御覧 に入れるでせる

見えれ、喉い、不安なものか眠ついよのなつきが、またすぐに、こんないよのなかけるさいよく 無難の目には、調えてはなった単の目には、調えていまく 無難ついばかけるさい。 巻いた彼女にたづれた。

てするのと、郷田先生の 筆記をするのも、樂ちやないわ」かちやあないわ。旅夜して、口波











見人と妻(その六)

来てゐました。兄さん



上於蒐吉

(98)

遭難船早隆丸事務長の感激しつい語る わが大和男子の活動

に郵職員の拠死施添鵬が現明、この避難機繋舭の茎には左の如きわが犬和男子の指標なる浣死の敷鑑住話がです」は第三十六共同丸に同葉と驚時の鞦韆なる濫職狀況をもたらした、それによつて繋張すべきわが海兵並墜、同地においてそれぞれ保管をうけ、早隆丸は段下繋引作薬に売めてゐるが、同盤の事か疑佐尼山邦資氏膨の避職支那人客三十名を乗せ、十八日午後七時三十分無事大連潔に鵝養した、残部の九十名は膨海線に上脆の避職支那人客三十名を乗せ、十八日午後七時三十分無事大連潔に鵝養した、残部の九十名は膨海線に上脆海線に上

奉天爾話』奉天朝鮮人居僧民會

寄附金募集開始

怒濤の底から敢然立ち上り 遂に使命を全うす

第卅六共同丸決死の勇士(上)石塚氏(上)白畑氏と敷助された乗客 主城富之 死を最待の四名は木の葉の如く 家三十六 徳馬艇を操つて選髄薬客の救験に

ペスト養滅策が行けれる智 に研究を織けてゐるが、 とに於ては漸顕と協力して をでは、 をでは、 をでは、 をできるが、 できるが、 できなが、 できるが、 でもなが、 でもなが、 でもなが、 でもが、 でもが、 でもが、 でもが、 でもが、 でもが、 でもが、 でもが、

め外交部で協力し も多大の支障を求め も多大の支障を求め り返しをなすため し多大の支障を求め り返しをなったが止 り返しをなったが止 り返しをなったがし

である である。 である

るやうな中央銀行数行の首元紙を取り出した所、中から手の切

養大 器得三 京東

健腦!

愛せよはれやい

-

まみ自

特長人美味にして日特良く

0

甘味舗獨特の新製品

考究

四の殿日郷起リンクにおいて開催 される登日本スピード選手権大会 に満洲代表選手として出場する神 に満洲代表選手として出場する神 に満洲代表選手として出場する神 に満洲代表選手をして出場する神 に満洲代表選手をして出場する神 に満洲代表選手を大会 に満洲代表選手をして出場する神 に満洲代表

五百元の紙幣話』織門

道周(mo)は一輛日間

故郭尚書府大

満洲氷上選手

臣に御下 定邦大臣の告

ホテル上帝の職田東(こ)で手を掘ったいしは十七日午前八時頃ナニワ 五日頃二千個で抱へられ 藝妓の駈落ち

徳温吹誉が具體的に現るれば快よ 度の卒業生は送る書には行かわが

近の世出

究

のの時

和洋食料品商

海洋行

クレープンA

(黒猫タパコ)

十本大

廿五

英國高級タバコ

滿日廣告部

電(2)三六九五

明整数したので、同数室では今年

土木技師のは

廿二日新京領警裁判

廷て

公別は興味を以

も下大さなつたので康平縣第五區 の受部及び第六第三銀属の一部の の受部及び第六第三銀属の一部の 時より鑑潔な公署に於て謝醫務等により鑑潔なの入職勢事質指導で、東京指導である。第二回防疫 職職は大學に搬職電報を許せて本 響を建し、清鑑技術部を始め各生 生態職を控否したことは意外の所 工務部長が草間博士を訪れて

吵防疫委員會

っ、因に開委員會

問題解決す

省工商 下 啊金 禁 集 件有利店の確定條 一家庭に 是非一臺 出

性バイン裁縫機械製作所 (大連連鎖角中山場人服店門) 張所

優良國産品

第卅六共同丸船長談

整数を覺えたらこく中には安心 りまこた のおまり編細こたものが多数ある。 只感謝の涙のみ

折からの

好天氣・觀測には上乘

各分食長は二十一日に発動する響での十二分食に分つて整理する等での十二分食に分つて整理する等で

東京春場所

北滿の白熊 毛皮を献上

たん咳·喘息

全滿省長から

皆既食

津田司令官

風紀を紊すエロ・ステップから

風紀を乗すさいふ悲しむべき候的 一張の島に連つたダンサーが大連

"許可主義 を勵行

明長させてゐる。

御乘用車には

を まてる大野なので を を で の 要地十齢節 で 五千 を か の 要地十齢節

からずる武器日までには五千名を 東北京日の象別者

関の視点を貼って入場式を があっカレッデ・スキー大會は至 展開されることになった ター・カレツザ・スキー大食は全 安東水災義金

響々しく大食の白糖化する酸技が行、引催いて四十キロ酸症により 八日養婦通』安東水災数

八百月に就と脱布することになり、一次八千個な飲止前に傷寒民の一般とり表現金銀統

帝の嵩霊館の御観さしての観上記を欲見より二月十六日の瀟湘園島 (密り切り) 医 奥 錦 (密り切り) 陸 奥 錦 (密り切り) 陸 奥 錦 (密り切り) 陸 ル 海 山 能清驗組高松佳巴綾錦太宗士九大綾飾吉柘神射 代水 ■ 業刀¶州州 ノ野 歳水 潟川川川豊山川潟昇山岩勝山山渡岩里山甲山川

|神歳 錦(射水川(金) 渡(間) 九日目の取組 裂產能力

まる

興スキー

肋膜炎百日咳 無蕳支加答兒 火に通信 淵洲國唯語一の雄語工場 罐詰界。覇王現はる ラチオ用

は原料を最適と側味及び作業上の際生に特に 製監備工額罐天孝 日 司

一ヶ年 十ヶ年間● 版表了口作歌,山口哲平

大日より歌舞伎座において開催すれ、八日より歌舞伎座において開催すれ、一郎の日本の一郎の日本の一郎の日本の一郎の日本の一部の日本の一部の日本の一部の一名の「日本の一名」という。

大連劇場に於て

片岡延松一座

一月十七日に何う中ら別覧会では、は 解かれて離く館を購くこさが出来 たのであるが本味樂館では一月十七日を「第二の際職談話日」さら て同夜事務所には本家から測覧会が出た。 とといけられ一年前のよび出場とに はな家がせた。本家の話では全後も にの「第二の際職談会日」をおれる を表示の話では全後も にの「第二の際職談会日」をおれる を表示の話では全後も にの「第二の際職談会日」をおれる を表示の話では全後も にの「第二の際職談会日」をおれる を表示の話では全後も にの「第二の際職談会日」をおれる を表示の話では全後も

ら里へさ、いつさに下り、水に添つ

やるがよい。こちらは、触まで、 はしてくる姿、脚めを繋いてはい かん」

さ松平見の「銀像に配る」の一枚

觀正會新年謠曲

巴、二人靜、小銀冶

れた姿を、戦宴は、一寒院の窓か

を表の「白銀の流」、二八二〇九 で表の「白銀の流」、二八二〇九 で表の「白銀の流」等が受けやう その他邦業の碁集物ではギター

くったり首を軽一「西塔の者は、西塔の者の考へて

土房の姿をながめて、孤霊は、

米王房は、うーむと鳴いて、呼吸いなせて、背に難はうさすると、 かぶせて、背に難はうさすると、

ら、もはや今日で廿日にもなるで てなに、まだ見つからん。そんな 「なに、まだ見つからん。そんな

たい。 報らせに来た者い法師たちな が、報らせに来た者い法師たちな た。少特面な々々さいつて、自分に、東郷第一さいふ器のある無壁をの郷臓法配だつた。 は、この際に打たれてゐるのでは やうい Ź 能つてあた。

とえん

てあることが目立つ、先づ智い学 陽煮な第一、終結開業業の間にア トの「交響曲第三十九番」が厳々 C節約集職な指揮して入れたかれ 和樂は大衆物全盛の コロムビアの新贈

山中温泉映画 新興

山田、夏川挨拶新藤凞氏が就任した ル部にゐた華胄界出の木下 の雲であるが、部長に日活 の雲であるが、部長に日活 寒時に悪化 する慢性の

大連觀世會

機選製圖

用

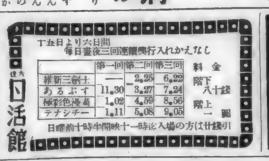
品

中田洋行

肺せんカタル キカンシ病

でを熱さへ作ふの





山。

一一一一一种原面唇







仁丹の煉の使ひ心地

非常店へ御用命の程偏に御願申上ます

大連市岩代町八番地

召して樂に、そして完全にフィットした御洋服ならば是



計画を転はした

壁へ逃げてくれる

花治

愈々本日午後六時入港

岡

延

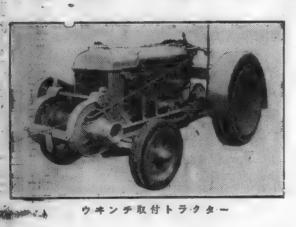
,行

日午後五時より開演

連

!篇王帝つ起に點頂の行流や今 ★隔の園全でひ勢の潮らがなさ 秀優の來近るありつりが擴でま 1套至のとつ放を彩五・歌行流 漢の旅覧を設めた 美湯カニモーハゲイバ びしもとの間谷・町の境圏

東西女優大歌舞伎

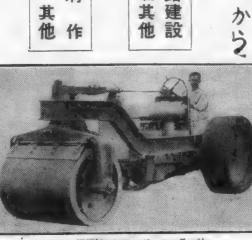


農業用 互業用 能率増進。トラクタ 發電動力、 雪 除、木 木

コンクリート混 内運搬、 卜混台、電線架設、 堀鑿工事、 道均、 、貨物積取其他。

耕作エレベ 材運 搬、 ーター用動力、 鑛 物 粉 粹、 溝 其他 作

量に使用せられ充分なる好成績を擧げ 關係業者各位は一時も早く本機を使用 トラクターは既に滿洲國の先覺者各位に依つて多 の大節減を實行せられよ つゝあり せられ經費



■道局個州ロード・ローラー付

株式會社

支本 店社 京天連 八千市 通 通 大力

A 10

常に御得意樣の御滿足を得べく

最善の努力を盡しております

より高尚に、

優秀なる生地を嚴撰し、

裁斷技術に付ては常に最新の流行の權威ご多年

より豊富に在荷致さております

柄に、

地質にすべてに

仕立に付ては「見えない所こそ充分入念

(可認地便應用三條)

(103)

握り

でもら満腹

B

MISHIMAYA

の經驗ごを以て斯界の第一位を誇つております

附屬、

御値段は「どこよりも安價に」確信を持つてお ります を建前に細心の注意を拂つております

御客様に對しましてはごこまでも誠實・親切 安價をモット ーごしております

既製品に付ては自家製品、 仕立共に他に見られない獨特の性質を持つて非 常なる御信用を願つております 高級既製として生地

三屋洋服

スポーツ「林雀は大連唯一の大 振替大連四五五九番電話二六五四九番



首相

1二黨首招待

で披瀝、政府支援懇請

支外交正常化强調 日支兩國間に協定締結の用意

廣田外相、議會で宣明

特に對支外交の正常化を醍醐すべく注意

昨日高橋駐在武官から

海支那紙

明に難し陸一三、四日前から宋哲元

東邊道の

院會議

開かれる概長會議のため前

| 安東電話|| 安華服衛士六駿線県安東電話|| 安華服衛士六駿線県

不る二十二日開催

定期航空 路を開設 統領同意を表明

原徳元年度第二準備金より古 銀



スの先のへかい来哲元章、

雅常に好利廻で で

年二 歌篇 二ケ年以上 金額

製井、試錐工事應需地下氷の調査、鑑定

開議(2)六五旦四番大連市の東市の東京の

T

業

所

盟は無用 獨自の平和工作遂行

3・模型製作のABC (四六判) (2・天體 類祭の一年 (監護) (2・天體 類祭の一年 (監護) (2))

金錢

信

託

は

(は、) (本の大人の) (は、)

大使作通電

最新科學グラフ

値の廉い 大好評の

贺賣元大阪 錢澤井商店 ムプソリーニ・ペン 反省を望む 宋哲元軍の

居る宋智元軍を搭進する為

獨裁者サラザー

五

彼の月給に五千

では約八百國ンであるから、手腕及入院粮の支掘に足りないので友人に返漕したことが最近になって総人に知れたのである。

氏は十九日正午餐はさにて藤豆餐

日下氏離京

悪動にかなり地強し変つてるだけ、 しまがには一般の対応後にも大戦生の対応対容がである。

世び此の山海に對し給ふに就て

く 意々以て 医実御 旅行の

電気を ・ 文章代表として内地ま で見返った職事原文を験具神野信 ・ で見返った職事原文を験具神野信 ・ で見返った職事原文を終見神野信

がいてあったが此程完成した。そ 可 の次系は連続米財政部において集 る次系は連続米財政部において集 のによるさ総が都、臨時都合して、そ 可 のによるさ総が都、臨時都合して、そ 可

時機を窺ふ

北畿ソ聯從業員

「日安国書」大同二年度 さし、戦略、田町・窓税等の権政 ・北月より戦後元年六月 は微視機師の整備を被譲つてゐる ・大月より戦後元年六月 は微視機師の整備を被譲つてゐる

今中此の切望達せられ、陛下 以前に引換へて獨立國家の皇帝

た上、二十日市午春はさで歌泉新たよ。二十日市午春は町の独郷かなる

瀋陽銀行開業

※の製務局長の官職に、更に一本

凱旋の菱刈將軍

歓迎で殆ご寧日無し

御厨文書課長歸來談

岩佐警務部長の訓示

の榮、皇室の尊、前途滅に洋々今中天時地利人和な兼員で國家

"軍•警固

い握手

社

說

古のた、種便に撤退せらめたさ たが、之れに從はざるのみな らず、最近却つて情様的行動に はてたからである。いふまでも してゐる今日、宋軍の此事動は

各要地を占領せるのみならず、

\$ \$ \$

迎款排灣

新名稱の郵便物も

受附けて書換 支那の通郵抗議處置 養否論對立

「大阪特體十八日韓」 満洲間(音ッ から側東州館会業室に於て手業共同の消費組合設立問題は現地消費者・三時散舎した

^端社員會幹事會 當面の重要問題審議

問題に関する質問あり、これの問題に関する質問の人を報事と以下各執事役別数六十 た中であり、適からず認可があ を中であり、適からず認可があ

「選延してゐるものの。ことでは武戦者の吹傷後那季戦争に 「開東局に非常されたが、 「戦権を置ること」と、吹組製に職 軍のため越可申請が拓務 会に適知し、本部さ各戦合會との

水産會評議員會

社員會幹事長

て新総事民態意抗合せ動物を贈く

● であります。 又民間に於ても ・ であります。 又民間に於ても ・ であります。 又民間に於ても ・ であります。 又民間に於ても ・ であります。 又民間に於ても ○季節はづれの戦かな今冬の無院 に、そゞろ緩心機へ離く、登鏡 な歴に適く郊外の山野に摩伽な がよ人士も多い事で存じますが を歴に適く郊外の山野に摩伽な 鳩を撃つな

を さしこれを再検討して研究を進めることを決論し、午後一時一先づ を 提出の新京に 武監督派所を 新京歌 音響があるの代について 歌歌した

生徒募集

英和タイピスト學院

X 1核創立(大正十二年)

栗屋氏が有力

【京都特電十八日聲】 昨年上 陳列所

我在支外交官の 涙ぐましい活躍 て帰京した、総中左の一大陸郡氏は十九日出紀 解決のため内地銀行 支那要人も漸ぐ熱意

金官の在哈滿州國日系官吏に関 軍司令官訓示 在哈日系官吏に

般會計歲入決算

千萬圓增收

禰洲國財政愈よ堅實

音

· 洋

一五五 六〇五

軟 梅 港 下 府 病

製で多くも、窓中におかせら

豆昂腾

医衛

後場市沢介九日

日本各地名産

the Tasto

思 枚

洋酒とる茶に相應しい召上り

世界各國

酒類

食料品

ヘーズルナツツ



②百日咳辣防に9號州 日 特別のエリック・タフェル社 T 三 割 併用 メオパシー薬剤作用絶對になく而かも飲みよい





浙病消温2字留神湯

二字行

日本藤葉島

开上醫院

拟尿器病

教権 在基 下海底

一二一、五〇〇〇

アルモンドナツツフランス

荷

ムコック

* * *

た大蔵宝は瀧揚さしても全浦て一蹶その名を中外に知られて一蹶をの名を中外に知られ

なごチチハルな中心に飛標各 なごチチハルな中心に飛標各 にまで供されてゐるが、龍江 にまで供されてゐるが、龍江

論を季においても氷上より 屈指のものであり、夏季は

帝政党権の周年一日を行じてを完了した、紫柳県始は本年

て禁口合作社は禁口都市な

登記を完了

三月一日業務を開始

問題に其の後各職僚者間に於て私し、『吉林』吉林土魃業者の組合設立

豪勢大嫩江

一の漁獲

昨年は七十二

キロト

中の漁獲高は七萬四千斤に

吉林土建協會

密野の野の意見要表に大いに緑紫の水原の三氏変や立つて溝濱設立 前大原の三氏変や立つて溝濱設立

奉天省の匪賊狀況

濛江縣のみ相當危險

創立總會開催

たちげ決議を消費一数可決して覧 大井幸吉、上田作文郎、黒木高 大井幸吉、上田作文郎、黒木高 竹変説に 大井幸吉、上田作文郎、黒木高 管下の原販規説は十二月一日新智 版が 「本表」・1二月中における常天省 加い 「本表」・1二月中における常天省 加い 「本表」・1二月中における常天省 加い

者、加へた二十八轍さなつた。め、歴 道及三町地帯の匪賊麻楽の最も多 が、態と新質内の濃江、金川、柳河 が、態と新質内の濃江、金川、柳河

て居る、管野殿の郷雪に依るさ左

日

營口金融合作社

區を増す毎に十銭増さいか程度金は二属四十銭、それ以上は一一區。それ以北を一属にし、料一

程でもなく保受係では健康にに使れば料金は僅か近距離に

奉タクの値下案

近距離だけ十錢安

保安係は慎重に考慮

して既報の如く十七日午後六時よ時來る」さの様文な各方面に飛ば

日午後一時より民食郷上に約三十年後名寒泉し紫一時より民食郷上に約三十年を1年後一時より民食郷上に約三十年を1年の2年の2年度の選集という。 一般の本格的趣談工事が多い様はつ せらむる筈であるさ した骨に本年は事態以来吉城縣 接移住させ一月 懲り五天地な熱係 と ひる筈であるさ

者たらんさ目下準備に怙殺されて緊痛一番我こそは土地界の第一人

業組

瓦房店の火事

度の寒風な征伏

所要人たちの邸宅の日に へ 在 たが、支那の此頃の鑑官量や迷

では、から、三月十五日まで来て アロ氏から、三月十五日まで来て

手紙。專

きは成功の鍵

M

何ややわかる

て対語法理 開制政務機会

態になってゆう

へのか見るで…

への改革を歌

無」さ離する排滅氏の一弦のうち にそんな一部がある

支那の機能省さいはれる山西を安放歌趣業公司さいふ食品が飽むいまれて登むも済んが

浦人にさつて慌たが

新く戦人した。 失人の原因 東二戸経験したのみで七時 大人の原因 では、 大人の原因 では、 大人の原因 では、 大人の原因 では、 大人の原因 では、 大人の原因 では、 大人のの大

一封度

毁

海城縣下に 合新組織

土地郡経費金を借入るべく進めつ 地域下の水田可郷地を監査中であったが、最近海域駅繁四區中底西方に が、最近海域駅繁四區中底西方 では下段飲を通じ機駅 で と しょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしん はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょく はんしん はんしん はんしんし 鮮農移植 を して新組合を報機する事 して新組合を組機する事 して新組合を組機する事 光陽村宣と上屋と長の戦

東光等民業良常院手会は、なかつた 大がが確の郷風に帰られ ンに始え続り 源し に猛火の郷さ化した、 急 た撮響子五百国、人 に猛火の郷さ化した、 急 た横響子五百国、人

ンに始えたりしんとな事が規明し

人音には被害か

階務会職合大会を召集した

能を戦極すべく十五日に全省

事天の八城門は十二日からいよ

南京政府の要人のうちに佛教信 ・ ながなどは然終を聴ってゐる

を整してコナト(に動り、一座た

3

北平の名儀馬連良が弟子のため

あるが質日寒さ烈しきためな厳なので

けふは娛樂デ

安東戸外週間の催し

【報山】 歡地朝鮮人金

ラゴエ食料品販賣店の暴利に

住民の怨嗟漸く激し

で主者の版を計ち自出版本版を遊したこの日を表土動と際と思える。 とたこの日を表土動と際と思える。 とたこの日を表土動と際と思える。

た際日本土館は十八日俗も陰酷十二次の行為さしてその行を偲んて来

{在奉獨人祝賀}

を直に率天六線路のドイツ人クラ 台を直に率天六線路のドイツ人クラ 台を直に率天六線路のドイツ人クラ 台を直に率天六線路のドイツ人クラ 台を直に率天六線路のドイツ人は数率し十七日 三

{ザール復歸に}

パラックのうちで血の溶むやう。

「大震災の四年後自分は東京な

•

日間小懸伎で催さるい運 既がこの程巡邏して來

擴聚器で運動食場

時から

した、食する人多軽盛食を纏めた 機下に腰間したさの糖に在率七百 を擔保盛大なる職賃食を開催し時から減土宗正念寺において開館 地方は歴史は大勝ななとナチス政 した、十九日は同クラブに各方二月十四日に概慮するので午後七 【事夫】ザール人民接票の結集同 ザール諸原報報賞會を催し表を

白系露人管絃樂團

「無順」十八日午前五時十五分費率天行子監察列車が事機概念子 東天行子監察列車が事機概念子 東大行子監察列車が事機概念子 東大行子監察列車が事機概念子

謹

賀新

酒造專用] 成績無比

奉撫線で脱線

發門元 大阪市東遊園區本州町 三 彰堂本

文章新辞典

等後にした、脱既は無路の放職ら連行で事天への連絡を取り正午過

消 青 年 會 青年會にては チチハル日 『チチヘル日流

式桐中

(カタログ送星)

日滿聯合反消運動

手で鬼物を行ふ事さなった。外に當日 では兎狩

撫順商人の 氣勢揚る

九時より神社裏山にて男 で行して有意義な測能な 無大陽に親めさ戸外の運 を検生徒出し会戦一般市 四日から開始された賞

瓦房店も参加 用鑑して優秀の成果が有志のフィガアースに

に反対の象殊を學ぐる新京特別市に反対の象殊を學ぐる新京特別市

營口派遣代表

新京で近く義捐興行

能力て、職僚各機能では紫蒙隆語 と住民の間に離まつて来た妖勢に なるとなって来た妖勢に

△獨岭△仕舞△霜調

大阪市港區九條中通一

• 六六七 • 二〇四〇

にして微削通りの交通運販を続けたの他の駆け非常策を解除即日これな質能することになつたが、解 ※第五局、第六局の一部な疫局さ指 ・第五局、第六局の八部局科及び野科 ・第五局、第六局の一部な疫局さ指 ・第五局、第六局の一部な疫局さ指 ・第二局、第六局の一部な疫局さ指 ・第二局、第六局の一部な疫局さ指 鐵嶺法庫間

時より午後一時まで、民會評議員改選 二

康平縣ペスト

非常策を解く

疫區のみは交通遮斷

交通解禁

間にて 開年記念書 十八 一周年記念書 十八

等天大西邊門外九 電面六六六 機廠空氣銃宣傳 洋 行

(無代謝品) ないまだ。 東京の一大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三大阪市東成區中本町四五三

手紙百科大辞典 英語獨写人群典 字くつし大辞典 現代新語大辞典 いろは引大辞典

彦氏《貴族院議員》同日安奉線にて内地へ

寄る邊ない老婆に 親切な看護の繊手

病重つて止むなく警察署へ

ないお婆さんの他話を見てやつた

感心な機タイピスト さ述べエッス

撫順防空促進會

問いながらも

田職一郎氏(總局員)十八日 **慰晴納山(稗局文書課長)十**

へ
本ヤマトホテル

の非熱策な続けることは従らに多って農民に乗へる抄撃は少くない。果一般敵民の職能してゐた鐵嶽送れるので、何時までし数玉直後、間の続きな全く指東することとは、沢、紫舎大阪疫館論を膝飾せる結果で行く時は全く終版したとも見、正月の仕入等一年中最も多忙な跡、日午後一時より鐵瀬縣公署に於て日浦各機師の努力により現在の狀、数年末に際して住民の特別形態、一院欲を見たので野親の知く十七日浦各機師の努力により現在の状。数年末に際して住民の特別形態、一院欲を見たので野親の知く十七日浦各機師の努力により現在の状。数年末に際して住民の特別形態、一院欲を見たので野親の知く十七日浦各機師のベストはその後、戦の終費を費すのみならず、一方 【編鴦】除平駅下のベストも全く

陣容を確

並

さんの心からの意味に感謝しつ のも済まないから――

の編成及び訓練

営口の義士會

、自会員會順間並に委員

| る撫願防空促進委員會の| な行つた。 育委員會順間並に | 機能行きれた防空流管を | 総つて一般防空について研究 | 機部無顧の空を離る防空 | 空を観じついて」の縁流があり 十九日第 一回會合

か、故めつてむし際歌歌の数 一年のがきに取って際戦の数 一年のがきに取って際戦の数 ができるての生活を進みず) の映隆戦展のため何くれる

二個を終むした。こかめつたが 取を終むした。こかめつたが ので確要つて思からかけのが

支店最を軽、以て今日の地位が認められて天津、上海の駅

がくだけて大さつばな増田歌 ☆…それでるて都家は各方 の氏こそ正に遊低でわるさ

を築き上げたものである。

が示す如く氏は離戯がく 者の絶大なる信用を博し

教合館の食民さらて大連海運等 地氏は、現在大連海運業 一大連汽船常務収締役州 多

ち(常時上海支店長)快く計 がる」さあつさり動低したに かる」さあつさり動低したに かった。 を明かにせればやまり動低したに を明かにせればやまり動像を した過去を有つだけに、 連動 とこればかり、球球 を明かにせればやまり を明かにせればやまり を明かにせればやまり を明かにせればやまり を がのったがあり、 が水である。

ては無心周密 「解維氏(率天總領事)同日 立即氏(青々哈爾領等)湯

人田知斯氏(管口領事)同日本中日開任 (安東領事)同日本 (禁口領事) 阿上

お子さまたちの

(大連音樂學校。

音樂のお精古

いつ頃から始めたらいゝか

谷方面の意見を聽く

人學前

その頃が適當

課程を一通り済ませてから、ピア

なら謙でも好いわけですが、一度さてす。随な際校を卒業した先生 へ称らないこさ、同時に、概象好

の要點です。中には、家にヒアノリされることが、腕を上げる第一 豫羽白 復智の練智をみつち

を使が出来ることになります。三一喉を吹き切るとか、寒雨古といふい、下り鯱は生準値なものだからられ教師の三味線作奏で、早もつ かり味 ある髪になり得るも い、下り鯱は生準値なものだから から から からいふ咽 の方は全様してゐるから差支へない。下り鯱は生準値なものだから

傳統を破る

モダン鏡の氾濫 三五年の珍型調べ やペラーの天下

號十四百三萬一第

ている。
この頃は既にもだいぶ珍黙が現れ、記案セルロイド工製が要差してか
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理へられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが理べられて居ります。木材、あるひは人形様や動物なさりつけ
などが変しいのには起きるかりま
な中の手舞式の遅延を機や、構成
です。歌しいのには起きるかりま
な中の手舞式の遅延を機や、構成
です。より ・ ませんが豊かの談察時で唯全の ませんが豊かの談察時で唯全の すか又あなたのみられる黄色帯下さいふのが静脈のいふ黄色帯でもない。 でしたら飛ご繰にならない程度に少しない。 生理師等下でしたら飛ご繰にならない程度 てゐるのでせう

(I selected to the selected t

してゐませう。やつてゐる中に、小學しても力の出ないやうなお子さん校へ入る職から始めるのが一・は、惟力が強いさいふここもありは、惟力が強いさいふここもありは、惟力が強いさいふここもありなったので、いくら絶習 くらのです。それに、小學校へが、解な子供はぐんぐんゆびて

て、いよいよお稽古を始れほどの注意も要ります (大連音樂學校長・関山民平氏師) やからすぎるのも考へものです。 やからすぎるのも考へものです。 きたいさ考へます。(大連音樂學 やからすぎるのも考へものです。 きたいさ考へます。(大連音樂學 をいます。(大連音樂學

師を選ぶのに… 小達者な人を避けよ

事がわるものでせうか、お軽れ数をなっないものでせうか、それさをなっないものでせうか、それさ 男性に異談かありませんので今日 於て驚つたのですが動務の都合でんして困つてぬます、一度病院で ペ」で困つてゐます。一度解院で した月程前から「ひぜ」 要があります。(岩男其二郎) ひぜんの療法

恐らく炎症を起し 原域さ のお教神の分岐は が成さお精液同量を遊ぜ煮立 のお教神の分岐は 防げます。

【答】後藤アシンをお見呂に入

変なる、日気を高ればてた 取り服されたこの迷惑の中 取り服されたこの迷惑の中

人は西洋人と連つて手の大きさ 五つ

か六つでピアノを誓しいふ人は、當分指先きだけの

?また概ごさんさしては、ざんな注意が必要でせう? いつたい音楽のお稼古を始めるのには、いつが適してゐるでせう ようさする御彩賦も多いでせうし、或ひは小繋校入敷の時を待つ はつ群を好き機能に、小さいお子さんがたに音楽のお稼古をさせ ようごする御家庭も多いでせうし、

一年十和昭

豫習復習 これが第一の要點

美容界展望

依然。個性美の發揮

たけの練習が からったほお祭には流源があります。そのからったほお祭には流源がありままから。なほお祭には流源がありままなにはがあって、昔ほどのいでめに 五、六郎で始められたかたは、ご れるやうに思ばれ、むしろ締めることは、一方に要素の貨幣もあることですから、お子さんが非常に変 いつそ入學前から、お棚古に通ばなら二年生になつてから、或ひは

が必要です。ご時で いります。たさへば衣裳が背色を特に平溝のお手入れ なごのお起び方が間待になつてま年はお他様に於てる ◆…順程、口程、アイシャドゥ

学 リーム 2 続でお化粧なさる位でよ ろしいのですが、複分は水出粉、 ドーラン等を用ひてもよいさ思ひ ます、地粉高鉱の時代は既に過ぎ まって、今年もやはり像性美の養 なるさいふやうな具合にいたしま まって、今年もやはり像性美の養 なるさいふやうな具合にいたしま なるさいふこさに、お他粉の瓢転が「す(井尻やす枝氏膜)

には確です、恐らく発動を駆し をが、小様を纏んで塗ったので、 をが、小様を纏んで塗った飲いまする をの日ハルピンの表上に並てられるなは、 であた著版は、窓場に駆まった飲い。 であた著版は、窓場に駆まった飲い。 の他のいもか、窓日の水のやうに かに、チェホフが、彼の燃電の 水に、チェホフが、彼の燃電の 中に揺ぶしたクリスチエーニエの

いふ事な誇りにしてゐる意け者で男は、ヨルダンの製作者であるさ りヨージカさいふ男の事で、そのさいふのは、ヨルダンな作つたセ える事にする。彼

枯野中人の 妹が灯なから 流れ識に油 若水やうし 楽器に実施 初層部のつき 長城は見慣 俳句》 文藝(持統)

海頭や洋一 元朝の陽筋 助つて見れば

しさなわづかに歌するのでわ 狭い並動の関りの土地に

んさした売りな濡れた輸搬に 演奏中の領域は無つほいどる

妻がへつた都市の陶谷に、

大連の生理

浪速町



會威墨

ださ云へませう。郷に付いてねったがら、やはりそれだけの心臓に

きは、経験戦には極難ない

を用ひるこからて雲を除ぎます。 も多いものですが、これにはボル トルストイが、復活祭を彼の名 で、クリスチエーニエの事はロシア対極の中にも多く財優にれてるるやう 〇四)の被嫌の短標「養婦」の中トン・チエホフ(一八六〇一一九

そして

一番完全治療を要する時!

しい危險な時!

舌しい喘息には

の選擇が第一

さ見たのは配白い事である。それによるさ、ハルピンの松花江で行にれるものさ、風雲が幾分識つて ある事を受りする。 立て、コルダンを崩る事を整備被が、減上の結構に次の十字数

は何もなく、村ばかりで出来てる。 るが、彼の書いたものによるさ、 対太で十字架を假つて、それを起 水に深して表慮対を凍りつかせた

その年間幸福であられることになってゐる。 十字集の上には氷て遺られ 一根が一羽のる宮である。 教會 な松松てまき散らされなければならの。

柳/希望

ハルビン事務所で聞いた白い屋

進大の希望

布架せの書が

は他しているというと呼 力が強制にな

数の如何に導實で

門地海外到る鷹の栗店に





の樂効を確實を変更になし。

ななせやに そこで東京

院の結果が

・服業翌朝尿は藍色に變じ强 さリペール臭を放つて排泄 と替へ難き快政を覺ゆ た無數の淋毒菌はこの恐る な外に放出してしまふ、故 体外に放出してしまふ、故 体外に放出してしまふ、故 に煩はしき又危險多き自家 に煩はしき又危險多き自家 に煩はしき又危險多き自家

本劑の特徴

當が肝要

淋病の黴菌

恐ろしき

れる女性に傳染すれば子宮内臓毒性膿漏脹となりて忽ち目は造

N

K

t

九 十

太 治郎

ートな速やくかはすここだで思ふ のです。石原君がインターカレッ のです。石原君がインターカレッ

戦勝優

【其六】

位なら成功

主本催祉 スケ 一卜座談會

四七四五七 ーーカニカ

選手権大会に出場

さて新らしい

立上記者 日本の選手は一 をりないから燃力が充分につかないのちやないでせうか。 を可ないちでつて見たのですが、またでではちつて見たのですが、またではいるのですが、またでは、カールのと

歩角 歩銀 金

维

技

用相三

用相單

式動起 撥 反 式動起相分

的国

社會式株菓製治明 橋京·京東

英數國漢地

X 整形外科

2

(0)

所作製立日 六一リ通輔山市連大 一三ノコル南府東京

プンボ気電

71115二目

獎推 士博學農木鈴。所究研學化理

內

に養榮の婦産姙・に健保の童見・に育哺の見乳

リナルを表分やるからアップなんか 少しもやらない。試合前ウォーミップなんかけだ。(つどく)

およって外国の選手に対らない。 を関って居るかし知れない。 を関って居るかし知れない。 を関うの構造だっだから長根離にな はなるほごその差が据だしい。 はなるほごその差が据だしい。 はなるほごその差が据だしい。

十奏マクニン錠 機能し下分 他とうでや の変形を

す

中山婦人

泌尿器科科

四四九



如何を耐はれざるま、画成生活を をが、アメリカの激出の疾風影演科 とて正しきものであるかどうか、 とて正しきものであるかどうか、 をが、アメリカの激出に脱して繋

中 れず、その影響の重大なること想

恐慌驚時に測る

能がの食質者とは同等の通貨で支配性の食質者とは同等の通貨で支

よつてその有効性が保護されてあ 年の金本位法、第二國自由公憲法 第二國自由公憲法

と繁都脈線が脈調である限り 潜せん 迎へん

大審院の判決待つ

金約欵の運命

迅違憲なれば事重大

より明かだ仍て我等は此の危機 を服のため 売服のため 売服のため を期を利息は平常通りさす ・空家の家屋稅を潰せ口や う行政院に請願すること う行政院に請願すること う市政府並に工部局に請願す

五圓の關門

大豆突き進むか

豆油も天井知らず

年關經濟を控へ

恐慌に悩む上海

商民のモラ要求切實

他の消費量は七百萬碗約一億個

洲

では粉末脱砕焼掘の上に重大な後、なほプリユーフアンネルの冷寒機や風の満洲状態の歐洲進出に就い | 野旅と得るものさ見られてゐる。

問題の輸送も

米船ご對抗し得

日魯漁業船の使用説

域権である脈係上、今回の満州域権である脈係上、今回の満州域 同國の一ケ年に於ける域権で教験 大津中の

歐洲へ進出

關東軍の聲明に 鈔票四圓臺乘せ 進申百圓臺を割る

十九八日日 1115 十九八日日 1115 十九八日日 1115 日 1106 臺 最高值 106 臺 1061公 1011公

か以て載令方な主管機關に請か以て載令方な主管機關に請

クの巨跳まイラ

必要はない」

豆油質

8 ろ

株式投資は、資本主義時代の最も優れた資産運用方法でありますが其實行に當つては投資銘柄をます。 という なます の 野村の經營にから、御聞も完備して居りますから、御職も完備して居りますから、御事も完備して居りますから、御事も完備して居りますから、御事も完備して居りますから、御事も完備して居りますがら、御事も完備して居りますがある。 を致す事にしては 相談係を設けてい

らせる 赤德 縣山市連 式株

英 単に法貨で支持へばよいことさ する する

育々の論学 現館の問題 のるさの状理論な以つて應酬しての情報というない。

○神户屋株式店

同立日機質(同) | 115回 相

印刷服 日社 印刷所

皮属

病

済生医院

门雪

胜 病 院長、鳴尾直

大連市党岩町四十二 エス・エス・ユゼ 大連市党岩町四十二 エス・エス・ユゼ 大連市党岩町四十二 エス・エス・ユゼ 進無

近合野理全

目場 ルトクド 江庄場馬

大連市西通(常置標西広場中間)

大連株式信託會社 徽花造 章環花

千箱の注文 歐洲進出の重要な楔機 米國物で一騎討

闌印が提議か

再開を

砂糖問題解決を焦る

(六)

に食敵形態の可否如何、また栗熊 ち事さなつたが、離耽さしては総 をかを、 でを整問題だけても無決な中さしてり を事でなったが、離れさしては総 でを整問題だけても無決な中さしてり ラング 高局は日職会融報告な基礎 1 ちれてある 5 東所に達した情報に使れば、オーちれてある 6 東京十九日養國道 オラングか 会に動破兵隊を提議す

正常化した

長岡代表談

り、日下ロイドの勉強管立動の上の歐洲輪田はこれが最近で取引値

反消演說會·

おものは戦られてゐる、これがた を表示した。 を表示し、 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示。

世界的網

ハルビンで

経験の を受け、 を受ける。 をでする。 をで め大連特殿市場に於ては大手輸出 が協の一般頭によって疾腺の一塗な 悪り十九日前場盤脚の離値は四個九十 八十銭、五月末隙の離値は四個九十 九銭さ魘遊して五個の大腿門突破 かはき魘遊して五個の大腿門突破

大連敷島里六京・

がに がに がに がは がは がは がしまする

的協定の可

言明を

の経験を変じて居り、それだけい を新作しで野城には野に勝かると

對滿支貿易 九年度概算

関、職東州、中華民間及び希継寅 関、職東州、中華民間及び希継寅 展、職東州、中華民間及び希継寅 大藏省發表

を譲ったは得られ

内地株聢り地株區々保合

海爲替情報

麻袋 産地情報は離八分一高、 青八分一高、鶯替岡事、常市は氣上 青八分一高、鶯替岡事、常市は氣上 共に出合ひ保合商財であつた。 銘柄 約定期 値、段 枚数 一月限 三八〇 四〇 一月限 三八〇 四〇 一月限 三八〇 四〇 田本高 七萬枚 出來高 七萬枚 · 綿袋氣乘薄

北支懸念に

定期食合高 (松本人) (加日對比較公印法) 公司 五五二七章 公一一車高梁 二二一四章 公三車 公三車 司和一七〇百箱 七〇百箱 七〇百箱 七〇百箱 日和生産高 可和生産高

大新東新 大新東新 大10 10700 (210 1

列車發着時刻

へ連驛は通過せず

う、それを思ふさかうとた運動一大な総総式を行い式後情侶及び既を静かにみつめてゐるであら、八時三十分から在哈正教各寺は部下は今忠繁塔の下で皇國の養一八時三十分から在哈正教各寺はら賛成とてゐます、私の澤山の 内外人の試旨な歌いた、この日や田神戦の運動には心の真底か 九日松花宮の氷上において行は

早隆丸救助から歸った、萩の

を双手を舉げての 赞 同を 得て手人會の幹部多数で會見し何れ

忠



















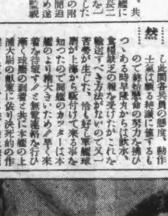














和尚にかか電を飛ばして田く

すれば何さやち、フト思ひ



全等百五拾圖 (城

二10〇(本日三・五〇一二百枚限り)

振りをつゞけてぬたが……近くの山の中で巡へる程の活躍

週は

ス週

間

第二週

大に努力する

#軍大連聯合分會長 岩井少將談

人會大連聯合分會長岩一

東京 目出取組

滿洲國皇帝陛下が二十一日旅順へ

元れる季節 大切なお肌の オソの御常備を

沙河口署の警戒網

自順につき九十十二十五銭





百貨店・化粧品店・消費組合にあり

今流行のお化粧品 良質廉價を誇る

(電氣遊園正門北 大連市逃鎖街廣小 G

高鳴る軍靴 人営・交代の若き勇士 昨朝堂々大連に上陸

ける村上氏)

十一時大連出帆に變更仕候 千歳丸延着の爲二十一日午前

近海郵船會社大連代理店

を以て項に控載させるれば明明せぬが無難が切れば明明せぬが無難が切れば鬼の時寒が切れば鬼の時寒が切れば鬼の時寒が切れば明明せぬが無難が

告

醫大選手一行

奉天を出發

のる課題を見び全日本のる課題を見びるでは、

| 支援に十九日午前十一時四十分要 | 多蛇の見送りを受けて出続したアケー選手一行は監督十川帰市氏 | 多蛇の見送りを受けて出続した

珠鄉引飯茶

特價

極上品

返品·返金·自由

《寫真は市中を行進する勇士》で一踏駐屯地へ向けて出棄した

日比兩選手を招待

滿洲國體聯から不日交渉開始

毛皮

良い毛皮を安く責る店

御仕度は是非常店にて

悪微を、ラツコ、カワウン

大連浪速町扇芳ビル下

貿易商會

產既製品 美美、ショール、防寒帽

各種防寒用品

不夏の陸上大會に

故郭尚書府大

臣の告別式

「新京電話」故郷尚潔府大臣の皆 人な傷人だ日浦委人多數の他香 わり象理者引 日帯委人多数の他香

萬の英靈を慰めるため

熱誠な運動起る

おにつき運動の先属者平田戦略は

の運動こそは正に私の一生に の運動こそは正に私の一生に

運轉手にも技術試験を カー付オートバイ 來月一日から規則改正さる

原北大湖子を中心に附近を荒し

盛口で逮捕さる

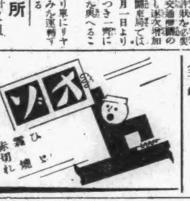
99

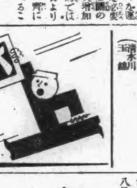
在荷豐富

十四より三十五回

つてるたば首張関連へこうは冬期間

から二月一日より





八日紫日紫に澎ルされた

京國皇軍軍用

門が織いたせし

む、それな式部に示し、

正書は現な取寄せ、筆な

先生、これを選し置けて役人共

◆産前産後の婦人 ◆虚弱 世質の人 ◆虚弱性質の

●病後恢復期 等々

うて何の鑑がある。サ、衛く自

に難し

外したが、駒井右京は正雪の死隊:

翌春頭、お使春輪井右京は豪物経

◆ 発腦 温精の目的 ◆根 氣 薄 弱の人

ねのである。

勝石は正響の影響を駆むる秦式

さ獨語のやうに言葉を遺して城中

◆呼吸器の弱い人 ◆呼吸器の弱い人 ◆呼吸器の引きの人

卸注意

原造發更元養命酒本

舒天龍館

虽所養命酒本舗出張所

呼吸困難等

肺結核の暖、

東部東京六八八五五番 電話 青山 五三九八番

○全國有名の藥店、百貨店にあり

急慢性氣管支カタル

薬店にあり

羽根蒲圏の御用は 神照會下さい かられた弊行へ

wa

総がき裕に

下宿 家族的に待遇す

宿

適應

症

意慢性喉頭カタル 百日頃、麻疹のせき

器の養命

スイで艦を進み出で、一局をキッ

つて居た坊主が見えぬが、彼は何

、先刺正雪の太刀な持

す者。これだけは生態になったが

腹は切つてるて未だ死に切れ

信州伊那の谷名産

製法日米專賣特許

一つて出て管手に一窓吹かせて後自 きものな、脳々続しだかけ、下変は、自然によりが 「変は、自然したか「成程、衛道理なれど、この鑑自」心が形込んで来たる「成程、衛道理なれど、この鑑自」心が形込んで来たる

きものな、脳々點したか、断う云で感念、自然したか、生描にすべ

でも身優が濃まらず、磨癬がした 飲して困りましたら、何の鬼性となり、冬は何程な戦を着 良く活気が出ますので、命え性となり、冬は何程な戦を着 良く活気が出ますので、明ればおい気から弱い発情でありま 他の実にからポカーへ乗

めさ申したに、慌いこさないたし

日

(A)

悟道軒圓玉旗

正雪の最期

げる事に仕る。先生は何さ聴し否一方の配路を駆いて久能山に引得を立て出て、 世上より何でなされるか」 は是より何でなされるか」

際下に糖せ行き、 腕き戸を踏み変 きかより軽く続に上つた。 優いて **学教に来てる。関き戸な踏み破**

るか、この小蝶にて柳つて出ればて変れることはなられる生態れることはなられる生態がない。生態れ

たすこと然るべく存する」

今度こそ由此正常もいよく、我のようには、現ださ、情でであるが、少しも出る様子もなく又もや解析になった。なく又もや解析になった。なく又もや解析になった。なく又もや解析になった。は、我には、最深されたかナ、不様ないま少し待てさ続める先輩もある。まアくし、までは、我には、まないまかし様では続いると、まアくくに数 大他の報に頭が繋載せした見て、 他の瞬に頭が繋載せした見て、 全別さは知らす。歌手の者は、今さりさは知らす。歌手の者は、今さりさは知らす。歌手の者は、今 版の前を覧げ、左の機を立て、膨の性をなく、アッリこ左に突き立て、 オにキリーへき引動した。 エイ、こ云な縁合さ共に関いた これか見て それないて松田惣左衛門が、 一世の極くとに観音にかて自った。時に年四十四。

秦式部も誇版する。 の気養まで残べて、アレ戦トリ脱を頻繁が乏しく窓がリヒなり、皮膚が乏しく窓がリヒなり、皮膚 や電景が完全に使外へ振進され ・ 本電景が完全に使外へ振進され 身體が弱いと になって感情を引き易く、作えか

知らず職ら 代も前郎野とな知らずる職ら がの間と駆撃とな 使つたり、戦節か振みを覚えた 他内に帯伝す、それが気に面 になれば、それが配便力の基準と になれば、それが配便力の基準と 能によつて病を無難し、世界性的なり、活気が出てか付き、自然歌 活気が出てか付き、自然教

かしい学理的政策や理解の効能なと云よ真観な問題になるが、むづ て、やつて見ると中々云ふ通りに

身體の裏い人が、があれる 多い、一時の宣傳などで流行して 行くものでなく、影響することが いが、弦に注目すべき事質は と「質に世の中にはこ 強壮州の養命風を愛飲して居る 間もなく厳るものが世間に多 人が、朝戦小盃

もあるものだ」と思心して

三大特色

まつて、年月と共に番々有名で しに勝さる艦艇に懸さ、その びの育りに、親戚知人にも疑め

冷え性で寒がりの

時、早速試して鬱魔なさい、 い、前窓の今日寒さが身に聴え

身體が温まつて丈夫になる

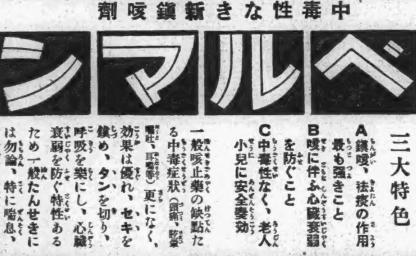
瀬岡縣

しり、眩暈がしたり、関が疑つてく しに、頭痛や眩暈、腹の凝りまで、 を表してを分など難がかれず、使つ 形も引かない文だの影響となりまて安慰できず観響数の妻師側の 一覧び、彫く側部地上げます。 ころが鉄上にて遊響戦の妻師側の つぎび、彫く側部地上げます。 ころが鉄上にて遊響戦の妻師側の つぎび、彫く側部地上げます。 ころが鉄上にて遊響戦の妻師側の つぎび、彫く側部地上げます。 ころが鉄上にて遊響戦の妻師側の つぎび、彫く側部地上げます。 ころが鉄上にて遊響戦の妻師側の つぎび、彫く側部地上げます。 ますので、彼いて愛いて愛いて愛いて気があく、何時とはな 瓶 いるとでいっていたす 等の葡萄融よりもうぎ から、東京市総合區上 西本館出張所へ知直ぐ 一本無料で送呈中で ため養命機試飲用小概 乗ぶる深近を

弱い身體は冷える 血行を良くすれば 活氣ポカー 冷え込みから病が起る 身體が肉附き丈夫になる ー温まり

何うすれば、動脈な心臓の脂

性 な き



衰い呼・鎮り効う 弱い吸りめ、果 せらるの ぐ特性ある たんせきに



なら満洲一

名酒 白龍正宗 自然语传 白龍酒治恒 摯志 番九六八七·二語電



下宿 數島廣區北側一丁目

內地

PQ

雇入度 事務員(生産的技術を有する

宿

印書

は大 袋 葬職用

御賜 嘉満 納洲 **三** 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 貸間 **技間**

文文 初音町二六七番八冊四中四、二烯房水便瓦斯

牛乳

牛乳

00

症狀(頭痛、眩暈

更になく、

セキを

栗の缺點た

賞五五國 賞四五國 電三一九二五番 電三一九二五番 電三一九二五番

沙河口元町三量 松光社電でもなる。 特別は、大口小口一般を無限格に利用に動人の方極移低利 大口小口一般を無限格に利力に対して、大口小口一般を無限格に対して、大口小口一般を無限度入

作ふ心臓衰弱

強きこと

法痰の作用



七支店

内密 (利簡単に急ぐ御用立

電話 養養遊に金融月帰郷 西通三常(2)大六三大連案内証 西通三常(2)大六三大連案内証 西通九三 電話 商 所通九三 電話 商 常和院企融一般商人簡易に 東方 東大帝會 電(3)三四二〇 大大帝會 電(3)三四二〇

毛皮 **圖満蒙洋行本店** ツト御氣に召しま店へ御下命下さい

金が成の一種







包紙 さ組各種

口被店電(2)五四三九香

大連市伊勢町三五拓茂洋行紙店

白帆

・天帆高級個化粧級は

命順の升輪島商店電話二八六二二の販賣調律及塗引かへ側用

旅館 学科 風

家政婦解外別海衛

共海寮電話(2)三六六三番一日前达一個より 西公蘭町五七 家政婦際 ん事を耐念じて居容を整へ御期待に 朝日紹介所 6副

三 明鲜蚜船 出代 日本報船

原内

大連家畜醫院 . 含 島谷汽船 路出帜

電気、約束オスラム気斯入権 選達町 山 形 洋 行 渡速町 山 形 洋 行 日日 日 日時日春

大連別生町四番地電で3つ八三一六 須摩町四〇山本菜吉電二五二七五 「使用中の車割安にて護波す に使用中の車割安にて護波す 「一条四シート」 . || 阿波共同汽船

得利格諾賓 Porigonopin 業質定日本橋楽月 実建市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四九七番

古着 共他何不用品に他店より一日達可ヱビス屋配であった。

不用 品親切本位置受

型ミシン電Cwo大大八四

代理店 大阪

三 日清汽船鼓出机

成 黒 焼 接替大連(3)が民事 大連市信濃町(帝領館前) 小 松 家 本 店